

No. 1

彦青発第78号

2023. 8. 16

公益社団法人 彦根青年会議所
2023年度 理事会構成メンバー各位

公益社団法人 彦根青年会議所
理事長 橋本 幾



2023年度第10回理事会のご案内

拝啓 残暑の候、貴殿におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、公益社団法人彦根青年会議所2023年度第10回理事会を下記の要項にて開催いたします。時節柄ご多用のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時 2023年 8月23日 (水) 19:00～23:00
場 所 文教スタジオ 5F

- 議事日程
1. 開会
 1. 点鐘
 1. JC宣言文朗読並びに綱領唱和
 1. LOMスローガン唱和
 1. 出席調査
 1. 議長選出
 1. 定足数の確認
 1. オブザーバーの承認
 1. 議事録作成人の指名
 1. 2023年度第9回理事会議事録の承認
 1. 理事長報告
 1. 専務理事会務報告
 1. 副理事長報告
 1. 資料の確認
 1. 報告事項
 1. 議題の採択

1. 審議事項

1号議案 6月度例会～コンプライアンスコンプライト～開催の件

2号議案 6月臨時総会開催の件

3号議案 創立70周年記念祝賀懇親会収支予算書変更の件

4号議案 創立70周年記念式典収支予算書変更の件

5号議案 9月度例会～輝け滋賀よ～開催の件

6号議案 10月度（家族）例会

～ someone important to me～開催の件

1. 依頼事項

1. 監事講評

1. 閉会・点鐘

配布資料

No. 1 2023年度第10回理事会のご案内

No. 2 2023年度第9回理事会議事録

No. 3 6月度例会～コンプライアンスコンプライト～開催

No. 4 6月臨時総会開催

No. 5 創立70周年記念祝賀懇親会収支予算書変更

No. 6 創立70周年記念式典収支予算書変更

No. 7 9月度例会～輝け滋賀よ～開催

No. 8 10月度（家族）例会

～ someone important to me～開催

以上

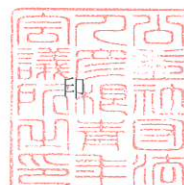
公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 第9回理事会議事録

理事長 橋本 一幾



議事録作成人 事務局



日 時 2023年 7月25日 (火) 19:02 ~ 22:29

場 所 文教スタジオ5F

出席状況

出席：○ 遅刻：△ 途中退席：▽ 欠席：×

理事	橋本 一幾	○	大野 勝輝	○	澤井 雄一	○	飛松 龍	○
	西川 隼世	○	夏原 大輝	○	青木 克実	×	北川 凌	○
	北村 忠征	○	園 一生	○	車 宝超	×	中西 雄也	○
	夏原 慶	○	藤井 肇	○	上田 一八	○		
	出席理事 以上13名							
監事	木田 乃輔	○	宮川 佳典	×	出席監事 以上 1名			
直前理事長	横津 優騎	×						
委員長	澤田 晃仁	○	丸山 義樹	○	西村 直人	○		
会計	西村 健太郎	×						
セクレタリー	北川 凌	重	清水 翔太	×	出席非理事 以上 4名			

1. 開会宣言・点鐘 理事長 橋本 一幾 君
1. 出席調査 事務局長 上田 一八 君
1. 議長選出 定款第47条により、理事長が 澤井 雄一 君を指名した。
1. 定足数の確認 理事定数15名、出席理事数13名、定足数10名
定款第48条の規定により本理事会は成立した。
1. オブザーバーの承認 なし
1. 議事録作成人の指名 議事録作成人 事務局
議事録署名人 橋本 一幾 君 木田 乃輔 君 宮川 佳典 君

1. 理事長報告

橋本 理事長

皆様こんばんは。梅雨が明けて暑い日が続いておりますが、お体にはお気をつけて下さい。まず、6月25日に写生大会表彰式をプロシードアリーナにて行っていただきました。西村委員長、設営お疲れ様でございました。参加した子供たちも喜んでおられ、作品警備も一週間順調にクレームなどなく終了できたと報告をいただいています。残りは報告議案書をしっかりとまとめていただきたいと思います。「写生大会や表彰式を行って、打ち上げしてお疲れ様」だと青年会議所としての意味がないと思います。しっかりと検証して何が良く何が悪かったのかということに気付くことが大事であり、それが青年会議所のメンバーだと思いますので、すべて終わるまでは気を抜かずによくお願いいたします。次に、7月6日の例会から始まり、7日の70周年祝賀会と8日の式典について、澤井実行特別委員長を始めとする、中西、夏原、両部会長、メンバーの皆様お疲れ様でございました。例会の時点ではどうなることかと思いましたが、懇親会の時にも話させていただいた「彦根青年会議所はやれば出来る」「当日に強い」という言葉の通りに、スムーズに祝賀会も式典も終わることができました。これも当日の皆様の意気込みが成果に繋がったと感じています。もちろん例会後や祝賀会の後に集まっていただいてリハーサルを重ねた結果が式典に繋がったと思います。祝賀会のソーラン節についても当日まで揃っていなかったのですが、そこも彦根青年会議所の団結力のおかげで、ここぞというところはきっちりと決める力を感じました。しかしながら、そればかりに頼ってしまうと、何とかなるだろうという気持ちばかりになってしまって、今後の事業や次年度の新年交流例会の際に失敗してしまうということも起きうる可能性があります。実際今回の周年で私自身は失敗してしまったらどうしようという気持ちがありました。しかし失敗してしまっても、次に繋がるようにすれば良いとも考えていました。今回は団結力で乗り越えることができたので、次の事業や次年度の交流例会の際にはしっかりとリハーサルも重ねて、乗り越えていただきたいと思います。改めて両部会長、委員長お疲れ様でした。16日、17日の2日間に渡り、近畿地区大会姫路大会への参加設営、丸山委員長ありがとうございました。近畿地区大会への参加者は13人だったということで、3分の1以上のメンバーが近畿地区大会に参加してくださいました。これも丸山委員長がメンバーに対して声掛けしてくれたことの成果だと思います。バスでの移動という手段まで考えていただいて、バスの中での会話などでメンバー間の交流を育めたと感じましたので、メンバーの絆「組織の輪」の確立

に近づいたのかと感じました。近畿地区大会初日に行った12人で姫路城に上がらせていただいて、世界遺産を感じてきました。彦根城の世界遺産登録の審査は延期されて、再来年に行われることになりましたが、姫路城の観光客の多さやスケールの大きさには、彦根城に無いものがあり、さすが世界遺産だなと感じることができました。お城の造りや、お城の成り立ちや活用法などは彦根城も変わりないと思いますが、やはり城の周りに観光客を呼ぶための工夫や、お城自体も見栄えがする工夫をされていました。これも姫路市に住まわれる方々の姫路城に対する想いが強いからだとも感じました。私たちは彦根城を写生大会で使わせていただいておりますが、私たち自身ももっと彦根城を好きにならなければ、世界遺産について勉強していかなければ、登録されるのは難しいのではないかと感じました。近畿地区大会2日目は20時半頃まで参加させていただいて、ノーベルブライトという姫路市出身の歌手のステージを見させていただきました。その中でも印象に残っていたのが人を飽きさせない力があると思いました。歌が終わった後に口笛を吹いてパフォーマンスしたり、会話の中で「落ち」のある話を盛り上げたりといったことをされていました。歌だけでなく話す力にも長けていて、私はすごいと感じました。7月20日の木曜日は野洲の地で褒賞事業の公開審査会がありました。澤田委員長お疲れ様でございました。大津青年会議所から始まって、彦根は8番目の発表でしたが、それまでの発表者は演台で話していたところを、澤田委員長はステージに登壇してカンペも見ずに堂々と発表されていました。他の人がしないことを取り入れて実践する勇気と、紙を見ずに話せるくらい練習していただいたということを感じられ、彦根青年会議所として大変うれしく感じました。ありがとうございます。結果については滋賀ブロック大会の中で発表されますので、どのようになるかはまだ分かりませんが、澤田委員長の「しゃべり」のおかげでおそらくグランプリか準グランプリは取れると思っています。お疲れ様でございました。7月22日、23日とサマーコンファレンスがありました。夏原専務理事と横津直前理事長と西村会計の4人で行って来ました。私は用事があったので、土曜日の夜19時頃に現地に着いたのですが、夏原専務にはお昼から参加させていただいて、フォーラムを受けていただきました。内容はコミュニケーション能力についてでしたが、青年会議所メンバーとして必要なフォーラム内容だと私も感じましたので是非受けて欲しいと言っていました。内容も良いもので、コミュニケーション能力を向上させたい方は夏原専務理事に言っていただければなんでも教えてくれると思います。そのためにフォーラムを受けていただいたので、これから話す機会がある方

は是非とも夏原専務理事にコミュニケーション能力のコツを聞いて下さい。次の日には滋賀ブロック協議会の芳田会長が参加されている「協議会って本当に必要」というフォーラムに4人で参加したのですが、そのフォーラムが私にとってすごく学びになりました。麻生会頭が話をされていて、滋賀ブロック協議会のような、「ブロック」の存在は密に交流を計れる場であり、ブロック大会などでLOM同士の交流も出来る等、各LOMにとって大事なものであるとっておられました。しかし、地区協議会って本当に必要なのかということも言うておられまして、彦根青年会議所メンバーでも、園君や北村君、西川君は地区協議会にコミットして出向されていますが、私も含めて行っていないメンバーが多いので、地区協議会のあり方というものを本当に各LOMのメンバーが大事に思っているのかということもを会頭が言うておられて、もしこれをアンケートで回答してもらって、要らないという回答が多くあれば、地区協議会というものを無くす方向で考えるということも地区長の前で言うておられました。サマーコンファレンスに来場されている全メンバーの前で何度もそのことを言うておられていました。その後地区協議会の方々が出てこられて、地区協議会のあり方や必要性を話されていました。麻生会頭は本当に必要なことは何なのかということも常々言うておられて、地区協議会は地区大会や災害時の活動以外に普段何をやっているのか。地区協議会の活動を各LOMのメンバー個人にどこまで落とし込んでいるのかということも疑問に感じておられ、まさにその通りだと感じました。地区協議会というところは出向したメンバーには学びになって良いものだと思います。例えば園君が出向されていた時の大塚君のように仲良くされていたり地区大会の際にも挨拶に来てくれたりとそういった面で良いところもありました。私は地区協議会についてはあってもなくても良いと思っておりますが、麻生会頭は何が本当に大事なのかをよく考えて下さいと言うておられました。アンケートの結果はどうだったのかはわかりませんが、会頭が会場に地区協議会が必要か挙手で答えて下さいと言った時に手を挙げる方はやはり少なかったです。これは非常に残念なことです。地区協議会に行くと滋賀県以外の方と話しをして、違った考え方や人脈を作ることができ、自分次第ではありますが、そのあと仕事に結び付けるなどのメリットがあると思います。近畿地区協議会で見ても2府4県を行ったり、来たりするので、費用的にも時間的にも大変ですが、メリットもあると思います。麻生会頭のアンケートの結果が来たら皆様にも共有したいと思います。本日の理事会は報告が2議案の7議案ありますが、3号議案から定款を一部変更の議案と定期預金の本会計への切り崩しの議案といった大事な議案

が上がってきます。この定款変更の議案ですが、理事定数を変えるという議案を上程させていただきます。私は来年卒業させてもらう年になるので、先の事は分かりませんが、今日この場には若いメンバーは来られていますので、この定款を変更するというこの意味をしっかりと理解していただいて、本当に必要なことであれば変えて、変えなくて良いと思えば変えなくて良いと言って欲しいと思います。ただ私達からすれば組織の理事定数の件なので、このままでは運営が苦しくなると感じましたので、前向きな意味で変更する議案を上げています。もう1つは定期預金を本会計に切り崩すという議案ですが、青年会議所の定期が一定数あるということも伺っております。定期預金については先輩にお伺いを立てないと崩してはいけないとも聞いてきました。今回シニアの方には報告をしていますが、定期を崩すのはなぜなのかといった時にメンバーの減少であったり、本年度が周年事業のある年であったりということがあります。本来は定期預金を崩すことはしない方が良いと思いますが、この定期預金のお金をいつまで持つておくのかということももあるので、必要であれば崩しても良いと思っております。先輩に怒られたとしても謝りに行こうと思っております。今年定期予期を崩すことが必要な年だと考えましたので、そういった指示のもと、この議案書を上程しています。この、定款の件と定期の件は私にとっては一番重要なことだと考えています。皆様の貴重なご意見をいただきたいと思っておりますので、慎重なご審議をお願いしたいと思います。本日は7号議案までありますので、メリハリをつけてしっかりと意見をさせていただきます。本日の理事会が皆様にとって実り多きお時間になりますことを祈念いたしまして、挨拶に代えさせていただきます。それではよろしく願いいたします。

1. 会務報告

夏原 専務理事

皆様お疲れ様です。まずは理事会の開始が2分遅れましたこと大変申し訳ありませんでした。会務報告、委員会報告につきましては先日、上田事務局長より配信をさせていただいております。また、度々の資料再発送、先ほど上田事務局長からもご説明ありましたが、2号議案5月臨時総会開催についての資料が抜けていましたので、追加させていただきます。改めて上田事務局長より正式な資料は作成させていただきますが、本日ににつきましては、5月総会の議案書は配信させていただきましたデータにてご確認させていただきますようによろしく願い致します。

1. 副理事長報告

西川 副理事長

本日丸山委員長より2議案上程させていただきます。忌憚なきご意見をよろしく願いいたします。また、9月9日に行われますブロック大会にて流す、ムービーに必要な動画の撮影を休憩時間などでさせていただきますと思います。

1. 資料の確認

上田 事務局長

資料に関しましてはメールにて配布しております。ダウンロードしていただいている方は再度ダウンロードしていただく必要がありますので、よろしくお願い致します。

○事前資料

配布資料

- N o . 1 2023年度第9回理事会のご案内
- N o . 2 2023年度第8回理事会議事録
- N o . 3 5月度例会～大人の運動会～開催
- N o . 4 5月臨時総会開催
- N o . 5 公益社団法人彦根青年会議所 定款一部変更
- N o . 6 定期預金本会計への切り崩し
- N o . 7 8月臨時総会例会議案追加並びに
アジェンダ一部変更
- N o . 8 2023年度8月補正収支予算書(案)承認
- N o . 9 9月度例会～輝け滋賀よ～開催

○当日配布資料

配布資料

- N o . 1 8月臨時総会例会議案追加並びに
アジェンダ一部変更
- N o . 2 5月臨時総会開催

1. 審議事項

1号議案 5月度例会～大人の運動会！～開催の件

(補足説明) 丸山 組織の輪確立委員長

参加者が対象者より少ない結果になりましたが、参加者全員が最終種目にてゴールを目指したことから団結出来たと考え、活気溢れる組織になったと考えます。

(質問) 中西 理事

当日の参加人数が少ないと記載されていますが、参加人数のところで外部監事1名と記載されていますが、参加されていた

のでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

1名参加いただいたのですが、仕事の都合でセレモニー終了後に退席という形になりました。

(質問) 中西 理事

実施上の問題点で終了時間が早まってしまったことにより、監事所感をいただけませんでしたと記載があります。問題点の中で時間のことが多く書いてありますが、一番時間がズレた原因、早く終わってしまった原因はどこにあると思いますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

一番の理由と致しましては参加者が少なくなってしまったことにより競技が想定より早く進んでしまいました。そういう場合も委員会で考えておく必要があったと思います。

(質問) 中西 理事

ゴールデンウィークの期間で元々計画されていた中で、理事会参加者やメンバーに対して出欠確認はされていたと思いますが、その中でだいたいの参加人数は把握出来ていたと思います。その時は参加人数も22名ということで、極端に少なくはなかったと思います。その辺りの誤差は元々の計画段階で想定出来ない範囲でしたのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

事前に聞いた参加人数はもう少し多い予定でした。それともう1点、私といたしましては少ない人数で考えるより、全員に参加していただきたいという考えもありました。当日に「今日行ける」と言っていただけということもあると思いますのと、少ない人数で考えるより、全員に来ていただきたいという想いもから、全員参加という形での時間を想定致しました。

(質問) 中西 理事

確かに全員に来ていただく方が良いとは思いますが、事前に来られる、来られないか分かった段階で計画を組まれるということで、他に何か人数が少なかった場合の計画も考えるべきであったと計画書を見て思いました。次年度への引継ぎということで書かれていますが、丸山委員長はこの様な人数が少ない場合に計画通り、時間通りにしようと思いますと、次年度へ向けて何かアドバイスなどのご意見はありますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

私は今回全員に参加していただきという想いがあり全員参加した場合の時間を想定致しましたが、実際それによって大幅に時間が早まったため、監事1名が遅参予定に間に合わないということで人数も減らしてしまう結果になりました。今回その様なことがあり修正してもいいのではないかと思う点もありました。今回私がこの様な結果になってしまいましたので、次年度以降はこれを参考にしていただきまして、もう少しどの様にするのかというのを考えていただきたいと思います。

(質問) 中西 理事

何か具体的な解決策やアイデアは何かありますか。もしくは報告書を作成する時に委員会で何かもう少しどの様にすれば良かったなどの意見などはありましたか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

5月度例会に関しまして参加者の数で時間が左右される競技が多かったと思います。参加者の数がわかった時点で競技の回数を増やすなどの工夫を取り入れることで、もっと実りのある例会になったのではないかと会話していました。

(質問) 上田 理事

当日参加させていただきましたが途中で抜けてしまいすみませんでした。途中で抜けたために分かりませんが、問題点のところに「競技中にケガをしたメンバーがおられ、途中から見学をされました」と書かれていますが、どの様な競技でどの様な怪我をされたのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

新聞紙リレーの際に足を痛められました。

(質問) 上田 理事

それは準備運動だけで防げるようなことだったのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

準備運動だけではなく、私の周りを見る力が足りなかったと考えております。

(質問) 上田 理事

周りを見てどの様にすれば防ぐことが出来たと思いますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

今回は足を怪我されたということですが、実際には熱中症等も考えられます。その様に体調等悪そうにされている方がいれば声をかけて休んでいただくなどの対応が出来たのではないかと考えております。

(質問) 夏原 理事

私自身参加させていただいて凄く楽しい例会でした。欠席されたメンバーに対して何かフォローはされましたか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

今回は団結力を深めるということに焦点を当てた例会で、実際に参加していただかないと団結力を深めるという部分では難しいところがありました。参加していただくために事前に委員会訪問などでPRさせていただき「この様な例会です。こういう意味があってこの例会を開催します」と説明しております。例会が終わった後のフォローというよりは事前にどの様な意味があって団結力を深めるのが大事だと説明はさせていただいております。

(意見) 夏原 理事

そうですね。例会の設えとしては参加するからこそ目的は達成できると思いました。先程、中西理事の質問もありましたが参加人数が少なかったというところで、何か他に出来ることもあったのかと思います。その辺り今後重要視してやっていただければと思います。

(質問) 上田 理事

少し下の方になるのですが、アンケート考察を読んでいますと質問3のところで「責任感は無かったが楽しめた」という意見があり、楽しさは維持しつつ、より責任感を持つ競技を選定し、メンバーの気持ちを揃える必要があったと考えます」と書かれていますが、具体的に委員会で楽しさを維持しつつ、より責任感を持つ競技はどの様なものがあるか話はされましたか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

すいません。もう一度言っていた方がいいですか。

(質問) 上田 理事

アンケート考察の質問3のところで「責任感は無かったが楽しめた」という意見があり、楽しさは維持しつつ、より責任感

を持つ競技を選定し、メンバーの気持ちを揃える必要があったと考えます」と書かれています。これについて委員会で他にどんな競技があった、どうすべきであったかなどのははされましたか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

この競技は私が考えて委員会で「どうですか」と聞きました。もちろんこれが一番良いとなりましたので、この競技を選定させていただきました。委員会内でも相談してこれに決めました。

(質問) 上田 理事

責任感を持つ競技というのが新聞紙りレーダということでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

おっしゃる通りです。

(意見) 上田 理事

私の勘違いでした。この辺り日本語が分かりにくいかと思いましたが、わかりやすく書いていただくようにしていただきたいです。

(質問) 中西 理事

3ページの1番最後の添付資料の種類というところが実際の資料と合っていないので資料訂正をお願いします。

議長判断により休憩

休憩時間 5分 19:41~19:46

(資料訂正) 丸山 組織の輪確立委員長

3ページ 9. 添付資料の種類

参考資料-3 を削除

(決定) 全会一致をもって承認

2号議案 5月臨時総会

(補足説明) 澤田 総務広報委員長

5月臨時総会についてですが実施上の問題点としまして、総会の開催時刻を19時半としていましたが、定刻に定足数を満たすメンバーが揃いませんでしたので10分遅延してしまい

ました。以降はこの様なことがないように早めに電話連絡をして定刻にしっかりと始められますように致します。

(決定) 全会一致をもって承認

3号議案 公益社団法人彦根青年会議所 定款一部変更の件

(資料訂正) 澤田 総務広報委員長

2ページ 行動計画書

(誤) 企画開始 2023年 6月14日 ~

(正) 企画開始 2023年 6月 5日 ~

2ページ 行動計画書

(誤) 6月14日 執行部会にて

(正) 6月 5日 委員会にて

2ページ 行動計画書

(誤) 6月22日 執行部会にて

(正) 7月13日 委員会にて

2ページ 行動計画書

7月 5日 執行部会にて を削除

(補足説明) 澤田 総務広報委員長

定款変更ということで、こちらの3ページのところに書いてあります通り新旧定款対照表を書かせていただいております。現行の定款が選出する理事候補者のうち、理事経験のない者及び理事経験のある者の人数は、それぞれ3分の1以上でなければならないという規則がありますが、そちらの方を選出する理事候補者のうち、理事経験のない者及び理事経験のある者のそれぞれの人数は、総会の決議をもって決定することができるということで、メンバーが少なくなる中で組織運営を柔軟に行っていける様な定款変更を行いたいと思います。

(質問) 園 理事

結局理事の人数は変わらないということですか。未経験理事の人数だけを変えるということですか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

理事の人数は15名から31名という定款は変えませんが、選出する時の未経験理事、経験理事を3分の1以上という部分を変えたいと思います。人数は15名以上で変わらないです。

(質問) 園 理事

何故、未経験理事の人数を変更しなければならないのですか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

今、メンバーも少なくなっていることもありまして、人数的な部分で、例えば理事長、副理事長、専務理事を除いての人数から3分の1となりますが、9人であれば3人から未経験理事を選びます。10名であれば未経験理事から4名を選ぶような形になります。今は未経験理事が減っていて少ない中からの4名の選出となりますので、委員長を経験していないメンバーや青年会議所に入って経験の少ないメンバーも理事に選出しなければならないという状況になってきていますので、その様な所を出来るだけ理事会の発言や意見の精度を上げるという意味もありまして柔軟な対応が出来るように変更したいと考えます。

(質問) 園 理事

分かりました。ただ、他のLOMですと委員長を経験する前に理事を経験するLOMもあります。その辺り澤田委員長に聞いて良いかは分かりませんが、委員長理事があってもいいのではないかと思うところもあります。ただ、人数減少は私たちも実感していますが、その様な柔軟な考えにはなりませんでしたか。今までのやり方を柔軟にするということでもよしかったですか。新しくやろうとは思いませんでしたか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

そうですね。私も思うのですがこの様な場所で指摘をしようと思うとある程度の経験が必要だと思います。私も質問は難しいというところもあります。その様な点で現実問題として経験も必要だと考えますのでこのような形にしました。

(意見) 園 理事

今日でいいますと車理事や青木理事等、選ばれても来ないメンバーもいます。その辺りで人数が多いのではないかと思います。選ぶのはメンバーですので、未経験理事を入れてもいいのではないかと少し思っています。

(質問) 北川 理事

疑問点ですが、この定款変更を総会で承認された後に総会の決議をもって理事経験のない者および理事経験のある者のそれぞれの人数を決定することが出来るとありますがこれは8月臨時総会で追加されるということですか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

一応、今年の臨時総会でこちらの決議は総会としてさせていただきますが、適用自体は今年出来ないということですので、次年度からこの3分の1というルールを外すような形になります。

(応答) 飛松 副理事長

理事会で通った場合、総会で上程させていただきます。その後定款変更が下りてから適用という形になります。適用出来るのが来年の選挙からの適用、そこで定足数と一緒に何分の1にするのか、定足数と一緒にどの割合でいくのかを理事に見ていただいた上で選挙を行うという流れになるということと理解していただければと思います。

(意見) 園 理事

議案のことではありませんが、計画書の日付と上程スケジュールの日付がバラバラですので、事務局しっかり見て下さい。

(決定) 全会一致をもって承認

4号議案 定期預金本会計への切り崩しの件

(補足説明) 夏原 専務理事

定期預金本会計への切り崩しということで公益社団法人彦根青年会議所定款第7章第56条の規定に基づき、8月臨時総会上程議案である定期預金本会計への切り崩しを提案いたします。内容としましては250万円を定期の方から崩します。使用の内容としましては一連の周年事業の運営資金として活用させていただきたいと考えます。

(質問) 園 理事

この議案書は、財政規則特別委員会は何も関係ないのですか。予算のことに关しまして。

(応答) 夏原 専務理事

そうですね。周年の積立金と同様に収支の部分になりますので、一旦本会計からの移動に関しましては執行部で検討させていただきました。

(質問) 園 理事

250万と大金だと思いますが、周年事業の運営資金と書かれているということは11月例会の委員会で使うということ

ですか。

(応答) 夏原 専務理事

もちろん11月の記念事業です。まだ内容が確定していませんのであまり言えないところではありますが、11月の記念事業を含めて他の予算、例えばこの前の式典、懇親会も含めて一連の周年事業の運営資金と考えていただければと思います。

(質問) 園 理事

ということは周年事業に関して、お金が足りていなかったということでしょうか。

(応答) 夏原 専務理事

予算としましては元々一年間で使う金額はありました。それを使って事業をして来ました。その中で式典、懇親会をする資金はありました。報告がまだなのであまり深くまで言えませんが、やはり10年前と状況も色々変わって資金面で計画通りにいかない部分や、今後予想される予算の面でやはりここを崩さないことには、彦根青年会議所として伝えたいことや、想いの部分というのを一連の周年事業で出来ないというところがあります。その中でこの250万円を切り崩ささせていただくことで有効活用出来るのではないかと考えております。

(意見) 園 理事

回りくどい言い方をされても困るのですが、とりあえず足りなかったということで解釈させていただき、11月の予算を組むということ理解しておきます。

(質問) 木田 監事

この理事会で回りくどい言い方は要らないと思います。もう少し具体的に今の分かっている状況で良いので、250万をどのような配分で使用されるのかお聞かせ下さい。

(応答) 夏原 専務理事

この250万円ですが、主に11月の事業で使わせていただきたいと思っております。ただ、この250万全部を使い切るかと言いますと、使い切れない場合も出てくると思います。その辺りですがこの後の補正収支予算にも出てきますが、80周年の積立資金という箱を作っております。もちろん11月事業を全部使うではなく、もちろん金額に見合ったより良い事業をした結果、色々な収支もかんでいきますので、その余ったお金に関しましては80周年の箱に入れさせていただき予定をして

おります。

(質問) 木田 監事

250万を11月度例会の事業と80周年の繰り越しに使われるという理解でよろしかったですか。例えば祝賀会で足りなかった部分、記念式典で足りなかった部分、周年をして足りなかった部分の補填はなかったという認識でよろしかったでしょうか。

(応答) 夏原 専務理事

語弊がある言い方をしました。今回周年関連事業という形で周年積立金200万円というのを下ろしております。更に今回250万円を下ろす形になります。周年という名前で使うお金として下ろしているのが今回450万円となりますが、そのお金を式典、懇親会で足りなかった所に充てる予定をしております。更に余ったお金から11月の事業に使います。更に余った部分を80周年の箱に入れるという理解をしていただければと思います。

(意見) 木田 監事

周年事業の計画が挙がった時に宮川監事から多分周年は別で収支を報告するようにとお話があったと記憶しておりますので、近々報告をいただけたらと思っておりますが、いくら使ったなどの詳細は理事会でご報告をいただく様によりしくお願い致します。

(決定) 全会一致をもって承認

5号議案 8月臨時総会例会議案追加並びに

アジェンダ一部変更の件

(補足説明) 澤田 総務広報委員長

今回8月の臨時総会においてこちら下線部の所に斜線を引かせていただいております。定期預金本会計への切り崩しの件、先程審議いただきました定款一部変更の件、所2024年度特別顧問候補者指名及び承認の件を追加させていただきたいと思っております。

(質問) 園 理事

特別顧問は理事になるのですか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

特別顧問は理事ではありません。

(質問) 園 理事

理事会では発言出来ないということですか。理事会には参加されるのですか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

ハンドブックの65ページの第4章理事会の部分で理事会の承認を得て、理事会に出席することが出来る中に特別顧問も含まれていますので顧問は理事会には出席されるということになります。

(質問) 園 理事

発言権は有るのか、無いのかお願いします。

(応答) 澤田 総務広報委員長

こちら第21条の所に理事会において関係事項について意見を述べる事が出来ると書いてあります。ただし議決権を有しないと記載されています。議決権はありませんが発言は出来るということになります。

(意見) 北川 理事

アジェンダ一部変更ということで構成理事の審議資料等付けていないと思うのですが、構成理事被選挙権などの説明の資料はないですが、特別顧問の方が理事に指名出来ないのであればその様な文言というのを当日付けておいて下さい。

(決定) 全会一致をもって承認

6号議案 2023年度8月補正収支予算書(案)承認

(補足説明) 夏原 専務理事

公益社団法人彦根青年会議所定款第3章第22条第2項の規定に基づき、8月臨時総会上程議案である2023年度8月補正収支予算書(案)を提案いたします。先程上程させていただきました定期預金積立切り崩しを含めて変更しております。

(質問) 木田 監事

公益目的事業比率を教えてください。

(応答) 夏原 専務理事

8月の時点で50.743%となっております。

(意見) 木田 監事

ページ数は書いてありませんが右下に書いてある数字が公

益目的事業比率ですね。非常に厳しい状況かと思っています。公益社団法人としては公益目的事業比率というのは、50%を越さなければなりません。これは守らなければいけないという部分があると思います。これを超えられるかどうかというのは11月度の事業例会。もしくはこれが超えられないようであればもう1つ公益的な事業をする必要があるのかと思います。8月補正収支予算書だけを見ていると非常に厳しい現状があると思います。9月、10月細かく見ていただきまして、公益目的事業比率がもし50%を切るのであればもう一つ事業をやっていたらと思います。

(質問) 園 理事

先程、250万円を下ろすと言っていた話に振り返りますが、80周年積立金が半分も積立てられています。残ったお金を入れるということに対して、125万円を80周年積立金への繰り入れと書いてあります。ということは100万円降ろせば足りたということではないのですか。

(応答) 夏原 専務理事

確かに100万円でもなくてもよかったのではないのかというところですが、全体の収入を見た時に、勿論周年関連の事業は周年の積立金や定期の切り崩しで賄いますが、その分ここに使う予定の物であったり、あとは拡大の状況であったりと考量しますと、足りなくなってしまった時と合わせて、先程木田監事が言っておられました公益事業を達成するという部分に余裕を見まして資金として一旦現事業では125万と書かれますがここで大きく変動する箇所だと思います。

(決定) 全会一致をもって承認

議長判断により休憩

休憩時間 10分 20:30~20:40

7号議案 9月度例会～輝け滋賀よ～開催の件

(補足説明) 丸山 組織の輪確立

本例会に参加していただき滋賀ブロック協議会について学び、他LOMとの交流を図ることで今後の活動に繋げていきたいと考えます。ご審議の程宜しくお願いいたします。

(質問) 上田 理事

事業の目的と意義、対内のところで「滋賀ブロックを構成する青年会議所の一員として参加し想いを共有することにより、滋賀ブロック協議会および県内9 LOMへの理解を深め」と書かれています。これはメンバーが滋賀ブロック協議会を理解するということでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

メンバーが理解する解釈をお願いします。

(質問) 上田 理事

メンバーが滋賀ブロックを理解するのであれば対内に対しての目的と意義と取れるのですが、そのあたり如何でしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

メンバーと言っても彦根青年会議所メンバーというよりは滋賀ブロック協議会全メンバーとして対外に記載しております。

(質問) 上田 理事

滋賀ブロック協議会全メンバーに対して県内9 LOMへの理解を深めるような取り組みをされるとということでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

滋賀ブロック協議会というよりは私たち彦根青年会議所メンバーも滋賀ブロック協議会の一人という解釈で参加していただくことによってブース出展等各LOM何かしらの想いをもって出展されると思いますので、そういったことを共有することによって他LOMとの交流や理解を深められると考えます。

(質問) 上田 理事

対内メンバーが滋賀ブロック協議会への理解をするということだと思うのですがいかがでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

もう一度お願いします。

(質問) 上田 理事

彦根青年会議所のメンバーが滋賀ブロック協議会の催し等を見て理解すると仰っていましたが、それは対内向けの目的と意義ではないでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

一旦、彦根青年会議所という括りから外れていただきたいのですが、青年会議所と記載していますが全体を見ていただきたいです。彦根青年会議所として参加しますが滋賀ブロック協議会の一員として参加することによってと言うことです。

(質問) 上田 理事

最後のあたりの文、「滋賀ブロック協議会および県内9 LOMへの理解」を、「滋賀ブロック協議会および県内9 LOMからの理解」に訂正しないと対外向けにならないと感じますがいかがでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

県内9 LOMと記載しておりますが他LOMから見ても私たちが県内9 LOMの内の1 LOMになりますのでお互いのLOM同士の理解を深めるということですか。

(質問) 上田 理事

他のLOMに滋賀ブロック協議会を理解してもらうということでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

他のLOMは何か取り組みをされると思います。他LOMの滋賀ブロック協議会への理解を深めるということはしないで。

(質問) 上田 理事

想いを共有するとありますが誰がされるのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

参加するメンバーです。

(質問) 上田 理事

滋賀ブロック大会に参加する全メンバーということでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

私たちは9 LOMとの想いを共有することになると思います。

(質問) 上田 理事

そうであれば最後のところ県内9 LOMからの理解を得て

絆を構築するという書き方の方がいいと思います。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

もう一度お願いします。

(質問) 上田 理事

「滋賀ブロック大会守山大会に参加していただくメンバーに彦根青年会議所を理解していただき絆を構築する一助にしたいと考えます」という書き方の方が対外向けの書き方だと思ひ意見しました。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

それは違います。うまく言えないですが彦根青年会議所のことも知っていただきたいですし県内他LOMの方にも彦根青年会議所を知っていただきお互い理解したうえで更なる絆を構築できると考えておりますので書き方はあっています。

(質問) 中西 理事

先ほどの答弁ですと彦根青年会議所以外のメンバーにも委員会として何か取り組みをされる認識でよろしいでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

委員会での取り組みは審議資料-1の4項目目に記載しております。ブロック大会を1日通してグループに別れて行動し他LOMの方と名刺交換をしてどのようなメンバーがいると知っていただけたと思います。名刺交換をすることで自然と会話が生まれますし歴が浅いメンバーは歴が長いメンバーのサポートを受けて交流を図れます。

(質問) 中西 理事

委員会として彦根青年会議所に対する取り組みはそれで問題ないと思います。対外の目的として他LOMの方が他のLOMに対して想いを共有する取組みがないとこの書き方では不味いと上田理事も仰っていると思いますが、委員会として他LOMのメンバーが他のLOMに対して理解を深めたり、想いを共有したりする取組みがないのであれば書き方を変更した方がいいと思います。いかがでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

県内9LOM、彦根を入れて10LOMあり、滋賀は1つという想いをもってブロック大会に参加します。理解を深め更なる絆を構築するというところで私たちが積極的に他LOMとの交流や知ってもらう要素を含んで彦根が絆を構築できたと考えられたら、相手も絆を構築できたと感じていただけたらと思うので、守山大会のツール、ブース出展等もあります。そういったところを踏まえてお互いを知る機会があると考えております。

(質問) 上田 理事

彦根が絆を構築できたら相手も絆を構築できるという解釈でよろしいでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

仰る通りです。

(意見) 上田 理事

こちらの熱い想いを参加するメンバー皆様に伝わるようにしっかり取り組みをしていただきたいと思います。

(質問) 中西 理事

組織の輪確立委員会として他のLOMに対する取り組みではなく彦根青年会議所のメンバーが名刺交換を通して絆を構築する取り組みとして目的の達成ができると今の説明でよかったですか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

名刺交換は話すきっかけで名刺交換をして会話が生まれますのでお互いのことをするきっかけになります。

(質問) 中西 理事

名刺交換をきっかけとして絆を構築することは分かりましたが彦根青年会議所について県内9LOM及び滋賀ブロック協議会が彦根青年会議所への理解を深めていただく方がわかりやすいと思いますがそれと違うのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

彦根青年会議所のメンバーが他LOMの理解を深めるのはもちろんのこと、県内9LOMにも彦根青年会議所のメンバーをしていただきたいと思います。その中でJCが話題にあがると思いますのでどのような設営をしているか等今後の活動

議長判断により休憩

休憩時間 5分 20:52~20:57

に繋がる会話をしお互いを知ることになると思います。

(質問) 中西 理事

他のLOM同士の絆を深める取り組みではないと思います。彦根と対外の関係なら分かりますが他のLOM同士でとなると難しいと思うのですがそこも含んでいるという認識でよろしいでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

守山大会に参加していただき滋賀魅力ブース、彦根からもカロム協会、宝源が出展されます。どのLOMも飲食店を出店されますのでそこでお互いのことがわかるといいますし他LOM同士で交流の深め方を彦根青年会議所がこうするべきというのは別問題だと思います。彦根対他LOMという形で絆を構築したいと考えております。

(質問) 中西 理事

滋賀ブロック協議会を構成する青年会議所の一員として彦根青年会議所メンバーということになると思います。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

守山大会に参加するのは各青年会議所が参加しますので想いを共有するというのは参加することに対しての思いであって何かしらの想いをもちて参加されるのでブース出店等ツールを活用して想いを共有することが出来ると思います。

(質問) 北川 理事

県内のLOM同士で繋がって絆を深めるのは理解できますが事業の目的と意義で対外として書いている以上報告議案でどのように検証されるのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

他LOM同士のことでしょうか。

(質問) 北川 理事

委員長が仰っているのは、滋賀ブロック協議会と県内9LOM、彦根青年会議所と県内9LOM、近江八幡青年会議所と県内9LOMのように、各LOMが県内9LOMへの理解を深め更なる絆を構築することだと思いますが難しいことだと思います。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

彦根対他LOMであって、ブロック大会も県内10LOMが参加してこそそのブロック大会というのが想いになっております。他LOM同士での絆が生まれるかは違います。あくまで彦根と滋賀ブロック協議会と県内9LOMへの絆を構築する、想いを共有するのは県内全LOMが参加してこそそのブロック大会ということになります。

(質問) 北川 理事

先程の上田理事との答弁であれば滋賀ブロック協議会、県内9LOMそれを彦根対9LOMではなく各LOM同士でと話をされておりました。実際のところ丸山委員長が滋賀ブロック協議会及び県内9LOMへの理解を深め、更なる絆を構築するということの主体は何になりますか。

(質問) 北川 理事

先程から仰っていることが変わっておられますので議案作成時の想いを改めてお教えてください。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

青年会議所の一員としての想いになりますとブロック大会守山大会は県内のLOM全てが参加しないと成り立たないと考えておりますので、その内の一員として想いをもちて参加していただきたいです。ブースも全LOMが出展されますので彦根だけでなく滋賀ブロックのLOMがあつてこそ成り立っていますので必然的にブロック大会を開催するにあたって守山だけでなく滋賀県のLOMで想いをもちて参加することで成り立ちます。それが想いを共有することです。その中で滋賀ブロック協議会および県内9LOMへの理解を深め更なる絆を構築することは彦根のことを知ってほしいことであり、他のLOMにも彦根のことを知っていただきたいということです。知っていただく為に本例会で名刺交換をさせていただき、それによってお互いのことを知り合えるのではないかと考えております。先ほどまでは語弊がありましたが、他LOM同士の交流のやり方は私たちが口を出すことではないと思います。

(質問) 北川 理事

それであれば県内9LOMへの理解を深め更なる絆を構築するという文言で皆様混乱しております。上田理事も仰っていた文言を訂正した方が良いのではないかとということです。いかがでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

滋賀ブロック協議会および県内9LOMには彦根は含まれておりません。彦根対滋賀県のLOMという風に解釈していたきたいのでこの書き方で問題ないと思います。

(質問) 中西 理事

対外の目的ですので滋賀ブロック協議会の彦根青年会議所以外のメンバーに対して彦根青年会議所をどう思っていたかかを記載しないとけません。彦根青年会議所のメンバーが他LOMとの絆を構築するのは対内の目的であるべきです。対外というのは彦根青年会議所に対して他LOMがどう思うかを変える、印象を変えるのが委員会の取組でどうなってもらいたいのか書くのが対外ですので最後の文言を変更したほうが分かりやすいです。

議長判断により休憩

休憩時間 10分 21:19~21:29

(資料訂正) 丸山 組織の輪確立委員長

9月度例会～輝け滋賀よ～開催の件

1ページ 3. [事業の目的と意義:対外]

(誤) 県内9LOMへの理解を深め更なる絆を構築する

(正) 県内9LOMからの理解を深め更なる絆を構築する

(質問) 夏原 理事

卒業記念品で番傘を選ばれていて選定理由と書かれていますが、選定理由の内容が番傘をどうするかの説明になっております。何故番傘を選定したのかお教えてください。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

身につけて持ち歩けるものが良いと考えました。メッセージを手書きでメンバーに書いていただきたくて衣類等であれば洗濯で滲み文字が読めなくなるなど考えられます。番傘であれば広げれば大きくなり、閉じれば小さくなり、持ち運びや置き場所にも困らず常にどこかに置いておけるものになります。広げたら大きくなるというのには言葉遊びも含んでおり彦根青年会議所を卒業されてより大きな人間になってほしいという思いがあり番傘を選定させていただきました。

(質問) 夏原 理事

理解しました。この番傘は当日利用されるのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

卒業式で番傘を持って登壇していただこうと考えております。

(意見) 夏原 理事

そういったところで使用すると格好良いパフォーマンスになりますので良い記念品だと思います。

(質問) 藤井 理事

目的と意義の対外に対する工夫と期待される効果が書かれておりませんが、どのようにお考えでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

工夫と期待される効果の4つ目に記載しております。名刺交換をして他LOMのメンバーと話すきっかけを作ったり、信頼関係を構築したりする一助になるというところが対外の工夫と期待される効果です。あくまで手助けです。いきなり信頼関係を構築するのは難しい部分がありますので互いのことを知り、信頼関係を構築する手助けです。名刺交換を行い、お互いの顔を知っていれば今後話す機会や、話しをすることで信頼関係を構築できると考えております。

(質問) 藤井 理事

名刺交換をすることで目的と意義の想いを共有し、9LOMからの理解を深め更なる絆を構築することの一助になるということでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

仰る通りです。想いというのは滋賀県のLOMでブロック大会に参加するというのが想いの部分に繋がると思います。絆を深めるのは目的と意義の4行目の部分に当てはまります。

(質問) 藤井 理事

3行目の9LOMからの理解を深めというのは個人的なものではなくて各LOMからの理解を深めるという書き方ですが名刺交換では難しいと思いますので、何か取り組みがあればお教えてください。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

すみません説明不足でした。個人としては当たり前ですがLOMとしてブース出店がありますので互いを知るきっかけになると思います。

(質問) 藤井 理事

それであればブース出店の資料を添付する必要があるかと思えます。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

参考資料-2にブース出展一覧を載せております。

(質問) 藤井 理事

ブースは宝源とカロム体験でしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

彦根からの出店は宝源とカロム協会になります。

(質問) 藤井 理事

カロム体験はどのようにされるのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

私が設営する部分ではないのでお答えできません。

(質問) 藤井 理事

委員長が知らないことを他LOMに掘り起こすということでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

今回、例会として参加しますので設営していただいたブースを活用しようと考えております。ブース設営につきましては滋賀ブロック協議会で行われますので私自身、不明点もあります。

(質問) 藤井 理事

9LOMからの理解を深めることに対する取組みはブースだと仰っていましたが、ブースに対して何をされるのかわからない状態で例会としてどうなのかと思うところがあります。委員会として手伝いをされるのであれば理解できますが、何もしないままでは何の取り組みもないのかと思えますがいかがでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

そういった点も含めて彦根は彦根のことを知っているというよりは彦根の新たな魅力をメンバーに新たに知っていただくとか私自身分かっていないカロムのことを参加してもっと知って、もっと宝源さんのことを知ってというような解釈をしていただければと思います。

(質問) 藤井 理事

今の答弁では難しいと思います。目的と意義で書かれるのであれば対応するものがないと例会の意味がないと思います。

議長判断により休憩

休憩時間 10分 21:38~21:48

西川 副理事長

皆様、お時間をいただき申し訳ございません。資料の不足、内容の煮詰め直し等を含め今回取り下げといたしますが内容について意見、ご質問があるかと思えますのでその部分はしていただき、次回しっかりとした議案を上程させていただきますのでご意見、ご質問宜しく願いいたします。

(質問) 上田 理事

開催趣旨の1番で「グループごとに別れて記念式典に参加していただき、グループで一番歴の浅いメンバーに記入してもらって他のメンバーに記入できるように手助けする」とありますが発表する場はありますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

発表する場は設けていません。メンバーがどう思ってるか共有することは目的ではございません。大会式典に参加していただき式典の内容を理解していただくことが目的となっております。グループで一番歴の浅いメンバーは分かっている部分が多いと思いますので他のメンバーと話してわからない部分は手助けしていただければと思います。

(質問) 上田 理事

記入するだけであれば4つの内から1つと言わずに全て記入すれば良いと思いますが如何でしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

4つとも記入できるように訂正して次回上程させていただきます。

(質問) 夏原 理事

例会セレモニー開会の時間が9:34で終了となっておりますが事業概要アジェンダの時間と違います。どちらが正しいのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

開会セレモニーの終了9:38が正しいです。

(質問) 夏原 理事

集合時間に丸山委員長も一緒に集合して乗り合わせで行くということよろしいでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

その時間で行きます。

(質問) 夏原 理事

集合して10分後に乗り合わせで出発、1時間10分後に到着とありますがギリギリのスケジュールですが例会の準備はできますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

会場が9時からしか開きませんが演台など必要なモノは会場で準備していただけますので準備は可能だと考えております。

(質問) 夏原 理事

会場まで時間通りに行けるのかどうか。交通状況等で心配な点もありますがいかがでしょう。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

当日事故などの想定はできておりませんが当日と同じ土曜日を想定し一度会場まで行きましたが1時間3分かかりませんでした。

(意見) 夏原 理事

間に合うのであれば大丈夫ですが例年の時間ですと30分程、時間に余裕をもって計画されておりますので一度確認していただき式典に間に合わないということだけはないようにお

願います。

(質問) 藤井 理事

終わりのセレモニーを駐車場でされると思いますが雨の場合はどうされますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

屋根のある駐車場でさせていただきます。

(質問) 藤井 理事

ブロック大会が中止となった場合、例会はどうされますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

ブロック大会の延期の日程に合わせて変更させていただきます。

(質問) 藤井 理事

ブロック大会は天気の都合で延期されるのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

把握しきれておりませんので、次回理事会には把握して答弁できるように学ばせていただきます。

(質問) 夏原 理事

駐車場の使用の許可は取れていますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

15ページの第2駐車場を押さえておりますので、ここでセレモニーをさせていただきます。

(質問) 夏原 理事

他のLOMの方も車を止められていると思いますが演台や旗を並べるスペースはありますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

駐車場ですが車が入れない場所ですので、車がいっぱいではセレモニーが出来ないということはありません。

(意見) 夏原 理事

他の車も通りますので危険なことが起こらないように設営していただければと思います。

(意見) 木田 監事

予算総額と予算書の金額が違いますので確認をお願いいたします。財特委員会でもしっかり見ていただくように、確認をお願いします。開会セレモニーの時間が間に合うのか式典が間に合うのかという質問がありましたが、会務報告から出向報告までを事前に集めて発信するということが過去にありましたのでそのあたりもご検討をお願いいたします。

(意見) 夏原 理事

添付資料、各会場位置関係図とありますが実際の資料と異なっておりますので確認をお願いいたします。

(質問) 北川 理事

滋賀ブロック協議会の情報を事前に発信するとありますが、いつどのような形で発信されますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

委員会訪問にてパンフレットを配布します。

(質問) 中西 理事

委員会での取り組みがブロック大会を楽しもう、学ぼうというところで4つありますが内容の説明はどこでされますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

時間の都合上、当日の説明は難しいと思いますので委員会訪問にて説明をさせていただこうと思います。不明点がないように質問していただけるようにします。

(質問) 中西 理事

車を出されるメンバーは委員会で準備されるのでしょうか。集合から出発まで時間がないので事前に決めるべきかと思えます。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

委員会メンバーで考えて次回上程時、説明させていただきます。

(質問) 夏原 理事

審議資料-1の内容を教えてください。記念式典から学ぼう等グループに別れて行こうと思いますが、相談であったり、グーグルフォームに回答するであったりほどのタイミングでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

随時行ってもらえればと思います。2、3日後だとおかしくなりますので、可能な限り随時話して回答してもらえればと思います。難しければ当日中にお願います。

(質問) 夏原 理事

随時となるとこの間の周年に式典のように次々と進みますので会長が話をされてる間にメンバーで話して携帯電話を触るなどは失礼に当たりますので絶対にあってはならないことですので入力する時間をしっかりつくっていただきたいと思っています。2番のクイズは事前に委員会で準備されるのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

事前に準備いたします。

(質問) 夏原 理事

学びのあるクイズを準備していただきたいと思っています。3番滋賀の魅力を見つけようではグループで色々回っていくと思いますが彦根からブース出展がありますのでメンバーがどう関わるか考えるとAグループは宝源、Bグループはカロム、Cグループはその間に回っていただく等、順番に回していかないと上手く回れませんので考えていただきたいです。宝源となると車理事が店に入られると思いますが車理事も例会の学びを得られるような動きをしていただけるように考えていただければと思います。

(決定) 取り下げ

1. 依頼事項

夏原 専務理事

皆様、長時間ご参加いただきありがとうございました。次回理事会に関しましては臨時という形で開催させていただきたいと考えております。日時につきましては改めて事務局より日程調整させていただきますので皆様ご参加の程、宜しくお願いたします。

澤田 総務広報委員長

7月20日の褒章公開審査に参加していただきましてありがとうございます。7名の方に参加していただきまして非常に心強く発表させていただけて感謝しております。また、8月7

日総会例会を開催させていただきますが、定款変更の議案がある関係で会員数の2/3の出席が必要ということで、会員数34名に対して24名の出席がマストになります。現段階では27名の出席の回答をいただいておりますが、過去に体調不良や仕事の都合で欠席される方が3名程当日欠席がありますので定足数が足りるように体調を万全に、仕事の調整もしていただき出席で回答されている方は必ず参加していただくようによりしくお願いいたします。

丸山 組織の輪確立委員長

本日、5月度例会を審議可決していただきありがとうございます。9月度例会につきましてはご意見をいただきありがとうございます。次回修正し再度上程させていただきます。貴重なお時間を頂戴いたしますがよろしくお願いいたします。そして7月16日、17日近畿大会姫路大会に参加していただきました皆様、周年の次の週というこいともありハードなスケジュールとなりましたがありがとうございます。また、次の週にはサマーコンファレンス私は参加できませんでしたが参加していただきましたメンバーの皆様ありがとうございます。

西村 地域共創委員長

冒頭、理事長挨拶にもございましたが7月1日に写生大会が終了いたしました。ご協力いただきましたメンバーの皆様、誠にありがとうございます。橋本理事長が仰っていた通り報告では完璧なものを上程いたしますので、皆様宜しくお祈りいたします。

澤井 70周年実行特別委員長

7月度例会、祝賀懇親会、記念式典にご参加いただきましてありがとうございます。彦根青年会議所の団結力を見せつけることができたと思いますし、歴史に残る周年になったと考えております。80周年に繋げるためにも報告をしっかりとしたいと思います。

夏原 専務理事

先程、次回理事会は取り下げとなった臨時理事会と言いましたが来月、8月23日に予定しておりました第10回理事会にて審議可決されたら間に合うとのことですので、次回は第10回理事会として8月23日に開催させていただきます。よろしくお願いいたします。

1. 監事講評

木田 監事

皆様、改めましてこんばんは。本日は第9回理事会にご参加いただきありがとうございます。そして、ご設営いただきました上田事務局長、委員長の皆さんありがとうございます。私事ではありますが、本日より現場に出ているため少し熱中症になっている気がするので、手短に。冒頭理事長からもありましたが、お身体には十分ご自愛ください。それでは、講評に移させていただきます第1号議案5月度例会～大人の運動会～開催の件について、仕事の都合で参加できず申し訳ありませんでした。また、相方も早々に退席をしていたとのことでご迷惑をかけいたしました。報告書を見ての総体的な意見として、シミュレーションが足りなかった結果問題点が発生しているように感じました。楽しかったから良かった。そう言った部分も必要だとは思いますが、青年会議所らしく入念に準備をお願いいたします。また、周年に向けてこの様な内容の事業は必要だと感じました。丸山委員長本当にお疲れさまでした。続きまして、第2号議案5月臨時総会開催の件について、いつまでたっても定足数の話題が付きまとうのが総会の定めになってしまっています。これをどのように払しょくするのか。総会の重要性を伝える取り組みを毎年行っていますがこれだけでは不足しているのかもしれませんが。メンバーとしての資質を高める取り組みの検討をお願いいたします。澤田委員長お疲れさまでした。第3号議案公益社団法人彦根青年会議所定款変更の件について、定款変更は2016年以来だと記憶しております。メンバーが減っている現状や時世の流れを考えると今の定款諸規則では通用しない部分が多々あると思います。もっと積極的に変更をしていくべき時だと思いますので、総務広報委員会だけではなく、執行部が中心となってJCI彦根の未来を考えていただければと思います。澤田委員長お疲れさまでした。8月度例会楽しみにしております。続きまして、第5号議案、第6号議案をまとめて、夏原専務お疲れさまでした。周年の年の予算管理の大変さを痛感していると思います。2023年が大成功に終えたと言えるのはこの数字を締めくくった時です。もっと苦勞していただければと思います。頑張ってください。続きまして、第7号議案9月度例会～輝け滋賀よ～開催の件、丸山委員長残念ながら取

り下げではありましたが、お疲れさまでした。冒頭、目的と意義についての議論がありました。私も違和感があった部分で対外の9 LOMと言う表現は間違いだと思います。現在滋賀県内のLOMは彦根も含めて10あるはずです。対外に何を求めるのかが対外の目的と意義だと思いますが、ここに彦根が入っていないとすると我々は何のために参加しているのかがわからなくなります。彦根に対して理解を深めていただくことが必要だと仰るのであれば、対外の目的は必ず必要になると思いますので、消さないようお願いいたします。結びに、70周年事業について大成功なのかは今後の報告書等で判断をすることとして、まずは皆さん本当にお疲れさまでした。祝賀懇親会、記念式典でメンバー全員がおもてなしの精神をもって、自分の役割をしっかりと全うできたと私自身は思っています。ただ、これで周年事業が終わったわけではありませんし、2023年度の活動は5ヶ月あります。約一年前に立てられた方針を今一度思い起こしていただき、橋本理事長が掲げる「初志貫徹」の精神をもって、今後の活動に邁進していただくことをお願い申し上げ、甚だ簡単ではございますが、監事講評とさせていただきます。お疲れさまでした。

1. 閉会宣言・点鐘

事務局 長 上田 一八 君

理 事 長 橋本 一幾 君

理 事 長 橋本 一幾



監 事 木田 乃輔



監 事 宮川 佳典



公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業報告書

第10回理事会1号議案

議案名 : 6月度例会～コンプライアンスコンプライト～開催
 提案者 : 財政規則特別委員会
 作成者 : 藤井 肇
 上程月日 : 2023年 8月23日

目次	上程スケジュール
事業報告書 (1) ページ～ (3) ページ	第34回 執行部会 2023年 7月14日 協議
収支決算書 (4) ページ	第35回 執行部会 2023年 7月19日 協議
添付資料 (5) ページ～ (13) ページ	第15回 財政規則特別委員会 2023年 8月 1日 審査
最終ページ (13) ページ	第36回 執行部会 2023年 8月 9日 審議
	第10回 理事会 2023年 8月23日 審議

1. [事業報告提案名]

6月度例会～コンプライアンスコンプライト～開催の件

2. [運動指針該当項目]

・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
 「組織」のチカラ・・・～目指すべき彦根青年会議所像～

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

彦根青年会議所がこれまで以上に地域や関係諸団体との信頼関係を築き上げるためには、組織運営に必要な不可欠なコンプライアンスについて周知徹底するだけでなく、メンバーがその重要性を再認識した上で意識向上を目指す必要があると考えます。

本例会では、メンバーがコンプライアンスについて理解を深めるとともに、意識付けを徹底することで、健全かつ円滑な組織づくりを構築する契機にしたいと考えます。

5. [事業報告の概要・推進方法]

- ① (実施日時) 2023年 6月 6日 (火) 19:00～21:10
- ② (実施場所・会場) 株式会社文教スタジオ 5階
住所：滋賀県彦根市佐和町6-15
電話：0749-22-7681
- ③ (決算額) 12,114円
※詳細は別紙 [様式：報-2-1～3] 事業報告収支決算書参照
- ④ (外部協力者) 公益社団法人日本青年会議所総務グループ 規則審査会議 議長
JCI静岡 栗田 泰吉君
- ⑤ (対象者) メンバー47名 (正会員32名、仮入会会員13名、外部監事2名)
- ⑥ (参加人数) メンバー19名 (正会員16名、仮入会会員 1名、外部監事2名)

⑦ (事業推進状況)

2023年

4月25日	講師に正式依頼、依頼状発送	
5月 2日	総務広報委員会、組織の輪確立委員会に委員会訪問にてPR	
5月 6日	5月度例会にてPR	
5月 8日	地域未来共創委員会に委員会訪問にてPR	
5月16日	委員長連絡会議にてPR	
5月22日	講師と最終打ち合わせ	
5月31日	メーリング及びSNSにてPR	
6月 6日	6月度例会～コンプライアンスコンプリート～開催	
1.	受付開始	18:30
1.	開会宣言・点鐘	19:00
1.	国歌斉唱	19:01
1.	JCソング斉唱	19:03
1.	JCI Creed唱和	19:05
1.	JCI Mission並びにJCI Vision唱和	19:06
1.	JC宣言文朗読並びに綱領・LOMスローガン唱和	19:07
1.	理事長挨拶	19:08
1.	会務報告	19:15
1.	委員会報告	19:24
1.	出向報告	19:25
1.	レイアウト変更	19:29
1.	委員会タイム	19:30
1.	講師入場	19:31
1.	講師紹介	19:32
1.	趣旨説明	19:33
1.	栗田 泰吉君による講演	
	テーマ1 コンプライアンスとは	19:34
	テーマ2 JCプロトコル	20:08
1.	質疑応答	20:20
1.	会場レイアウト変更	20:28
1.	JCI彦根格付けチェック	20:30
1.	謝辞	20:50
1.	講師退場	20:56
1.	終了	20:57
1.	レイアウト変更 (アンケート回答)	20:58
1.	監事所感	21:02
1.	若い我ら斉唱	21:07
1.	閉会宣言・点鐘	21:09
1.	終了	21:10
6月 7日	講師にお礼状発送	
7月19日	委員会にて検証及び事業報告書作成	
8月13日	JCI彦根格付けチェック正解例をメールにて配信	
8月23日	事業報告書を理事会へ上程	

6. [開催目的の実現と成果]

- ・本例会を行い、コンプライアンスの重要性とJ Cプロトコルへの理解を促したことにより、今後のJ C活動に対する意識を高められたとともに、健全な組織を構築する契機になったと考えます。
- ・公益社団法人日本青年会議所総務グループ 規則審査会議 議長である栗田君に講演していただいたことにより、改めて徹底された審査基準や身だしなみを知る契機になったと考えます。
- ・事前にドレスコードと身だしなみに関して委員会からメンバーに伝えたことにより、J C I 彦根格付けチェックへの意欲を高められたとともに、メンバーの例会当日における身だしなみを整える一助になったと考えます。
- ・委員会タイムにてJ C I 彦根格付けチェックを行い、メンバー一人ひとりが自身の所作やドレスコードを改めて意識したことにより、正しい身だしなみへの意識向上を促せたとともに、今後の活動に役立てる一助になったと考えます。
- ・アンケートを実施し、メンバーより忌憚のない意見を収集したことにより、本例会の検証を行う一助になったと考えます。

7. [実施上の問題点]

- ・アンケート結果より、一部のメンバーから「話が難しかった、理解できなかった」という回答をいただきました。講師と入念な打ち合わせを重ねて行い、可能な限りメンバーの経歴や経験年数による理解度の差が生じない設え、講演内容を講師と検討しておく必要があったと考えます。
- ・アンケート結果より、一部のメンバーから「もう少し時間をかけて話を聞きたかった」という回答をいただきました。限られた時間の中で、どのような内容にすればメンバーに伝わるか、時間配分をどうすべきかを講師と入念に打合せしておく必要があったと考えます。
- ・格付けチェックに対して、一部のメンバーより「最後に正解例を教えてほしかった」と回答をいただきました。格付けチェック後に、良かった所作、悪かった所作についての指摘、説明、実演をメンバーの前で実施するなど、メンバーの理解を更に深める設えが必要であったと考えます。
- ・メンバーの参加数が19名という少ない結果となりました。事前のPRの段階からコンプライアンスの重要性をしっかりと周知し、本例会への参加意識を可能な限り高める必要があったと考えます。

8. [次年度への引継事項]

- ・外部より講師をお呼びする際には失礼のない対応が必要です。事前の打ち合わせ段階より気を配ることはもとより、当日お越しになった際のアテンドや手土産の準備など、おもてなしの心を持った誠意ある対応を検討してください。

9. [添付資料の種類]

- ・参考資料ー1 例会風景
- ・参考資料ー2 講演資料
- ・参考資料ー3 格付けチェックシート結果
- ・参考資料ー4 格付けチェック正解例
- ・参考資料ー5 アンケート結果

10. [その他]

なし

事業収支決算書

[様式:報-2-1]

<事業報告収支決算書>

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額	摘要
(収入の部)				
1. 本会計からの繰入金	12,114	12,114	0	
収入計	12,114	12,114	0	
(支出の部)				
1. 会場設営費	10,000	10,000	0	
1. 講師関係費	1,946	1,946	0	
10. 通信費	168	168	0	
支出計	12,114	12,114	0	
収支差額	0	0	0	

※上記収支差額(剰余金)は第10回理事会の承認を経て本会計に繰り入れる

[様式:報-2-2]

<収入明細書>

(単位:円)

科目	細目	摘要	予算額	決算額	差額	備考
1. 本会計からの繰入金		6月度例会～コンプライアンスコンプリート～	12,114	12,114	0	
		小計	12,114	12,114	0	
		合計				

[様式:報-2-3]

<支出明細書>

(単位:円)

科目	細目	摘要	予算額	決算額	差額	備考
会場設営費	会場費	文教スタジオ5階使用料	10,000	10,000	0	
		小計	10,000	10,000	0	
2. 講師関係費	講師記念品	講師手土産@1,836 埋れ木	1,836	1,836	0	
	講師食事代	水@110	110	110	0	
		小計	1,946	1,946	0	
10. 通信費	対外通信費	依頼状・礼状@84×2枚	168	168	0	
		小計	168	168	0	
		合計	12,114	12,114	0	

予算との主な差異

(収入) なし
(支出) なし

例会風景



趣旨説明



質疑応答



謝辞



講演



JCI 彦根格付けチェック



集合写真

講演資料

JCI®

公益社団法人産振青年会議所
6月例会
コンプライアンスコンプリート

1

JCI®

規程審査会議
議長 栗田 泰吉 (静岡JCI)

2023年度規程審査会議が拙く夢
「誰もがコンプライアンスを守り、
あらゆる法人の模範となる組織へ」

2

JCI®

2023年度規程審査会議が拙く夢
「誰もがコンプライアンスを守り、
あらゆる法人の模範となる組織へ」

3

JCI®

誰もが、必ず守らなければならない
コンプライアンス

4

JCI®

誰もが、必ず守らなければならない
コンプライアンス

5

JCI®

誰もが、必ず守らなければならない
コンプライアンス

6

JCI®

誰もが、必ず守らなければならない
コンプライアンス

7

JCI®

誰もが、必ず守らなければならない
コンプライアンス

8

JCI®

誰もが、必ず守らなければならない
コンプライアンス

9

JCI®

誰もが、必ず守らなければならない
コンプライアンス

10

JCI®

たった一つのコンプライアンス違反が、
大きな失敗につながります

11

JCI®

誰もが、必ず守らなければならない
コンプライアンス

12

JCI®

コンプライアンス管理体制
を確立する上での重要なこと

13

JCI®

コンプライアンス管理体制
を確立する上での重要なこと

14

JCI®

コンプライアンス管理体制
を確立する上での重要なこと

15

JCI®

コンプライアンス管理体制を確立するために

16

JCI®

コンプライアンス管理体制
を作ることの難しさ

17

JCI®

コンプライアンス管理体制
を作ることの難しさ

18

JCI®

コンプライアンス管理体制
を作ることの難しさ

19

JCI®

コンプライアンスの理解を深めるため

20

JCI®

コンプライアンス入門
～契約①～

21

JCI®

コンプライアンス入門
～契約①～

22

JCI®

コンプライアンス入門
～契約①～

23

JCI®

コンプライアンス入門
～契約①～

24

JCI®

**コンプライアンス入門
～著作権～**

＜著作権を使うためには＞
1. 著作権者の承認が必要
2. 著作権者の承認なく使用できる場合

著作権法20条 著作権者の承認を得るには、
①権利者の同意
②著作権者以外が同意する
必要がある。

49

JCI®

**コンプライアンス入門
～著作権～**

＜著作権を使うためには＞
1. 著作権者の承認が必要
2. 著作権者の承認なく使用できる場合

著作権法20条 著作権者の承認を得るには、
①権利者の同意
②著作権者以外が同意する
必要がある。

著作権法20条 著作権者の承認を得るには、
①権利者の同意
②著作権者以外が同意する
必要がある。

50

JCI®

**コンプライアンス入門
～著作権～**

＜著作権を使うためには＞
1. 著作権者の承認が必要
2. 著作権者の承認なく使用できる場合

著作権法20条 著作権者の承認を得るには、
①権利者の同意
②著作権者以外が同意する
必要がある。

51

JCI®

**コンプライアンス入門
～著作権～**

＜著作権を使うためには＞
1. 著作権者の承認が必要
2. 著作権者の承認なく使用できる場合

著作権法20条 著作権者の承認を得るには、
①権利者の同意
②著作権者以外が同意する
必要がある。

52

JCI®

**コンプライアンス入門
～著作権～**

＜著作権を使うためには＞
1. 著作権者の承認が必要
2. 著作権者の承認なく使用できる場合

著作権法20条 著作権者の承認を得るには、
①権利者の同意
②著作権者以外が同意する
必要がある。

53

JCI®

グループワーク 課題②

友の会プロトコルを
見て、どういった流れでコンプ
ライアンスチェックをすれば良
いか考えてください。

グループワーク解答フォーム

54

JCI®

グループワーク 課題②

友の会プロトコルを
見て、どういった流れでコンプ
ライアンスチェックをすれば良
いか考えてください。

グループワーク解答フォーム

55

JCI®

グループワーク 課題②

友の会プロトコルを
見て、どういった流れでコンプ
ライアンスチェックをすれば良
いか考えてください。

グループワーク解答フォーム

56

JCI®

コンプライアンス管理体制を確立するために

③ 組織の構成員に対する意識啓蒙
日本JC本会2023年度版の
アジェンダ「資料DL」をご参照下さい。

57

JCI®

コンプライアンス管理体制を確立するために

③ 組織の構成員に対する意識啓蒙
日本JC本会2023年度版の
アジェンダ「資料DL」をご参照下さい。

58

JCI®

**誰もが、必ず守らなければならない
コンプライアンス**

コンプライアンス管理体制を確立すれば
組織に対する信頼は高まる！

コンプライアンスを知ること、
① 組織に対する信頼を高める！
② より良い事業、プロジェクトを創れる！
③ 社業に活かせる知見が得られる！

59

JCI®

JC プロトコルについて

そもそも「プロトコル」とは、
複数の者が対象となる事項を統括し
実行するための手順について定めたもの、
(Wikipedia)

そうであれば、
最も重要な点(最も目立つ点)は、
手順を厳密に守る、採りついで違反が重要

60

JCI®

JC プロトコルについて

2023年度
日本青年会議所
ホームページ

61

JCI®

JC プロトコルについて

憲法規定下レスコード

62

JCI®

JC プロトコルについて

「プロトコル」とは、
複数の者が対象となる事項を統括し
実行するための手順について定めた
もの、(Wikipedia)

なぜ、その手順が必要か？
その手順の存在を認めることも重要

63

JCI®

JC プロトコルについて

これまでの「プロトコル」は、
日本青年会議所が、出向者に対して、
1つの基準として作成するもの

日本青年会議所と各地青年会議所(LOM)は、
全く別の法人
各団体の青年会議所のプロトコルを兼用しては
ない(誤り)

64

JCI®

JC プロトコルについて

外部者
ホームページ

65

JCI®

JC プロトコルについて

「プロトコル」とは、
複数の者が対象となる事項を統括し
実行するための手順について定めた
もの、(Wikipedia)

なぜ、その手順が必要か？
その手順の存在を認めることも重要

66

JCI®

本日のまとめ

本日のコンプライアンスに関する
お話は下記資料をご参照ください

67

JCI彦根格付けチェック結果

JCI彦根格付けチェック

良い→○ 普通→△ 悪い→× すべて○→A ×がない→B ×が一つでもある→C

氏名	一札の 順番、向き	一札の 角度、姿勢	全体通しての 流れはスムーズか	JCIバッヂ ネームプレート	スーツ、靴、シャツが 華美でないか	開襟のボタンが 第一ボタンのみか	全体的な 身だしなみは清潔か	採点 A, B, C
橋本 一幾								
横津 優騎	○	○	○	○	○	○	○	A
木田 乃輔	○	○	○	○	○	○	○	A
宮川 佳典	○	○	○	○	△	○	○	B
西川 隼世	○	○	○	○	△	○	○	B
飛松 龍	○	○	○	○	△	○	○	B
大野 勝輝	○	○	○	○	○	○	○	A
夏原 大輝	○	○	○	○	○	○	○	A
澤田 晃仁	○	○	○	○	○	○	○	A
藤本 夏樹	○	○	○	○	○	○	○	B
丸山 義樹	○	○	○	○	△	○	○	B
北村 忠征	○	○	○	○	△	○	○	B
園 一生	○	○	○	○	△	○	○	B
西村 直人	○	○	○	○	○	○	○	A
清水 翔太	○	○	○	○	○	○	○	A
北川 凌	○	○	○	○	△	○	○	B
中西 雄也	○	○	○	○	○	○	○	A
藤井 肇	○	○	○	○	△	○	△	B
北川 真衣	○	○	○	○	△	○	○	B

格付けチェック正解例

①一礼の順番、向き

国旗に向かい一礼、登壇、演台前で一礼→演台前で一礼、降壇、国旗に向かい一礼

②一礼の角度、姿勢

一礼の角度は30度、胸を張り姿勢を正す

③全体を通しての流れはスムーズか

登壇～降壇までの所作がスムーズにできている

【セレモニーの流れ】

1. 来賓がご臨席の場合は、来賓席に向かって一礼をする
 ※次項の「登壇・降壇の順番」のパターン2「①」を参照。
 ※パターン1の場合は、先に国旗へ一礼をしてから、会場にいる来賓や会員へ一礼をするが、次項の「登壇・降壇の順番」のパターン1「②」を参照。
2. 国旗が設置されている場合は、国旗に向かって一礼をする(写真①)
 ※壇上に設置されている場合は、次項の「登壇・降壇の順番」のパターン1「①」、パターン2「②」を参照。
 ※国旗が設置されていない場合は、一礼は不要。
3. 演台前で一礼をする(写真②)
 ※次項の「登壇・降壇の順番」のパターン1「③」、パターン2「③」の位置で、演台から0.5～1.0歩下がった位置で、登壇前に一礼をする



④JCバッジ、ネームプレートの着用

JCバッジ、ネームプレートが着用されているか、傾いていないか

⑤スーツ、靴、シャツが華美でないか

⑥開襟のボタンは第一ボタンのみか

⑦全体的の身だしなみは清潔か

JCI彦根のメンバーとして、ふさわしい身だしなみか

JCI Japan

ビジネスのスタイル例 (男性版)

- ・JCバッジ、ネームプレート着用
- ・スーツは華美でないもの
- ・シャツは柄、派手なものは避ける
- ・靴は華美でない色の革靴
- ・くるぶしの見える靴下はNG

JCI Japan

ビジネスのスタイル例 (女性版)

- ・JCバッジ、ネームプレート着用
- ・スーツは華美でないもの
- ・シャツは柄、派手なものは避ける

JCI Japan

クールビズについて

- ・夏期間 (5/1～9/30) を目安とするが、主催者の判断で期間以外でも適用可能とする。
- ・諸会議のうち、推奨服装規定が「スマートカジュアル」となっているものに関しては、8～9ページに示すスマートカジュアルのスタイル例に準ずる。
- ・諸会議のうち、推奨服装規定が「ビジネス」となっているものに関しては、6～7ページに示すビジネスのスタイル例をベースに、男性については、ノーネクタイ可、開襟は第一ボタンのみとする。
- ・諸会議において、開会時間会時、また、会頭挨拶をはじめとする挨拶の場面においては、ジャケットを着用すること。

アンケート集計結果

(Q1) 本例会を通して、コンプライアンスへの理解を深め、重要性を知ることが出来ましたか？

できた	17名
できなかった	0名
どちらともいえない	2名

(Q2) Q1の質問において、そう感じられた要因をお聞かせください。

<できた>

- ・重要だと感じました
- ・話を聞いてるとそうだったから
- ・とても丁寧でわかりやすかった。
- ・去年した例会より良かったです
- ・著作権について詳しくなったから
- ・判例を持って規則を破ると罰則される事例をもとにした話が聞けたから
- ・コンプライアンス違反での信頼性
- ・組織が信頼を得るために重要なものであることを再確認できました。
- ・著作権がこんなに厳しいと思わなくていろいろとびっくりした分めっちゃ勉強になりました
- ・なかなか聞くことのできない話で、興味を持ちました。
- ・本会の審査方法は全てのLOMが参考にすべきだと思う
- ・表面的なルールではなく、なぜそのような仕組みになっているのかということがわかった。
- ・まだまだ理解は出来なかったが少しでも学びを感じれた。
- ・具体的な事例をふまえての説明を聞いた。
- ・JCだけでなく、社業でもしコンプライアンスを徹底する意識を持って運営していくことが重要だと感じたからです。
- ・理事会の重要性がしれたから
- ・著作権など身近になかったけど、重要性に気づけました。

<どちらともいえない>

- ・話が難しかった
- ・頭が悪くて話してる内容が理解できないところが多かった

(Q3) JCプロトコルへの理解を深めることが出来ましたか？

できた	16名
できなかった	1名
どちらともいえない	2名

(Q4) Q3の質問において、そう感じられた要因をお聞かせください。

<できた>

- ・ルールとマナーが理解できたから
- ・話を聞くとそう思えた
- ・実体験などを踏まえた話がわかりやすかった
- ・とても分かりやすかった
- ・僕の時より詳しく聞けたからです。
- ・大切だと思った
- ・プロトコルの深さを知った
- ・栗田議長の説明を聞いて、理解ができました。
- ・いろいろなルールを知れてよかったです
- ・あくまでも日本青年会議所の基準であり、JCI彦根も本会に則るのではなく明確な独自の基準を持つべきだと思った
- ・プロトコルの意味を理解できたから。

- ・決め事とは大事なんだなあと思った。
- ・プロトコルについての成り立ち、考え方を知ることができた。
- ・改めて知る事ができたから
- ・プロトコルを見直す機会になった。
- ・普段なにも考えずにしていたが、プロトコルの大切さに気付いた。

<できなかった>

- ・駆け足での話になったため、もう少し時間をかけて話を聞きたかった

<どちらともいえない>

- ・話が難しかった
- ・少し議長の話す時間が少なかったかなー

(Q5) 格付けチェックを行ったことにより、セレモニー、ドレスコードへの理解を深め意識付けすることが出来ましたか？

できた	17名
できなかった	1名
どちらともいえない	1名

(Q6) Q5の質問において、そう感じられた要因をお聞かせください。

<できた>

- ・出来ていました
- ・前もって聞いていたので、当日意識して参加できた。
- ・くるぶしやめます
- ・実際の評価を頂けたから。
- ・普段気にしてないところでおろそかになってる部分があった
- ・審査側楽しいわー
- ・服装を見直す機会になりました。
- ・改めて勉強になりました。
- ・ピシッとしてきたつもりやったけどAもらえなかったんでまだまだ精進します
- ・A評価を得られなかったので改善したいと思いました
- ・何を基準として審査してたのかが分かりづらかった また、ちゃんとした正解例が提示できるとより良かった
- ・今後とも身だしなみとうに気を付けたい
- ・どこが良かったか、どこが悪かったかのフィードバックをいただけるとより理解できたと思います。
- ・服装も大事なんだとはじめて知ったので。
- ・チェックがあるということで、意識を持つことができた。
- ・皆んなの姿をみて
- ・格付けチェック楽しかった

<できなかった>

- ・どこが良くてどこがダメだったのかがわからないままでは、あまり意味がないので一人ずつ講評をして頂ければ尚良かったと思います。

<どちらともいえない>

- ・最後に講師等の正解を見たかった

(Q7) 最後に本例会の率直なご意見をお聞かせください。

- ・コンプライアンスで難しい例会を講師によって、わかりやすかったです。
- ・ありがとうございました
- ・いい例会でした

- ・議案などがアジェンダシステム使用というか、もう少し彦根寄りに話してもらえたらより理解が深まったと思います。
- ・やっぱり講師は勉強になります。
- ・すごくいい話が聞けたと思うのですが頭悪い人にもわかるように噛み砕いて話をしてほしかった
- ・よかったよ！お疲れ様！ 肇はBやったけど(笑)
- ・久しぶりの講師例会では学びがあることが多いため今後も検討して欲しいと思います。
- ・コンプライアンスを学ぶ重要な例会でした
- ・周年事業に向けて、実りある例会であったと感じました。
- ・難しかったけど、いろいろと勉強になってめっちゃ貴重な例会でした!!
- ・青年会議所、社業に活かせるよい例会だったと思います
- ・お疲れさまでした、外部講師をお呼びしての設営は実りがあり英断だったと思います
- ・勉強になりました
- ・理事会で決議をすることがなぜ重要なのか、理事会と総会の違いが理解できて良かった。
- ・良い例会でした。
- ・コンプライアンスについて学ぶことができ、今後さらに学ぶきっかけになった。
- ・講師に参加して頂く例会は、普段とは違う学びがある
- ・本会からの講師良かったです。

【アンケート考察】

(Q1) (Q2) より、大半のメンバーがコンプライアンスへの理解を深め、重要性を知ることができたと回答いただけただけことから、本会の議長の講演により、コンプライアンスの重要性を学び、再認識することが出来たと考えられます。(Q3) (Q4) より、こちらも大半のメンバー J C プロトコルへの理解が深められたと回答され、そう感じられた要因から、それぞれが J C プロトコルへの高い意識を持つことが出来たと考えられます。しかしながら、(Q1、Q3) とともに話が難しかったとの回答もあり講演の内容を伝わりやすくする手法を考える必要があったと考えます。(Q5) (Q6) より、多くのメンバーがセレモニーの所作や身だしなみへの意識付けはできたと回答があり、J C I 彦根格付けチェックをしたことで、今後のメンバーの意識を高める効果があったと考えられます。しかしながら、できなかった、どちらともいえないとの回答があり、要因として内容をもう少し工夫する必要があったと考えられます。(Q7) から、講師を呼んだ例会は有意義な効果が得られますが、内容をしっかり検討することと、継続していくことも重要だと考えられます。総じてこの例会を開催し、講師のご講演、格付けチェックを行ったことにより、メンバーのコンプライアンスへの重要性、J C プロトコルへの理解を促せたとともに、セレモニーの所作や身だしなみへの意識を高め、今後の活動に活かし、健全かつ円滑な組織づくりを構築する契機になったと考えます。

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業報告書

第10回理事会2号議案

議案名：6月臨時総会開催

提案者：総務広報委員会

作成者：澤田 晃仁

上程月日：2023年 8月23日

目次	上程スケジュール
事業報告書 (1) ページ～ (3) ページ	第34回 執行部会 2023年 7月14日 協議
収支決算書 (4) ページ	第35回 執行部会 2023年 7月19日 協議
添付資料 (5) ページ～ (6) ページ	第15回 財政規則特別委員会 2023年 8月 1日 審査
最終ページ (6) ページ	第36回 執行部会 2023年 8月 9日 審議
	第10回 理事会 2023年 8月23日 審議

1. [事業報告提案名]

6月臨時総会開催の件

2. [運動指針該当項目]

・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

6月臨時総会において、公益社団法人彦根青年会議所定款第4章第32条、役員選任の方法に関する規則第2章第5条の定めに従い、公益社団法人彦根青年会議所2024年度理事長候補者・監事候補者を発表し承認を得るため、定款第3章第23条の定めに基づき、臨時総会を開催します。

5. [事業報告の概要・推進方法]

① (実施日時) 2023年 6月 9日 (金) 19:30～20:02

② (実施場所・会場) 文教スタジオ 5F
住所：彦根市佐和町6-15
電話：0749-22-7681

③ (決算額) 10,000円
※詳細は [様式：報-2-1～3] 事業収支決算書参照

④ (外部協力者) なし

⑤ (対象者) 47名 (正会員32名、仮入会会員13名、外部監事2名)

⑥ (参加人数) 21名 (正会員17名、仮入会会員 2名、外部監事2名)

⑦（事業推進状況）

2023年	4月25日	会場正式予約
		メンバーに出欠確認開始
2023年	5月15日	委員長連絡会議にてPR実施
	5月29日	5月臨時総会の資料発送
	6月2日	地域共創委員会へ委員会訪問にてPR実施
	6月6日	6月度例会にてPR実施
	6月9日	6月臨時総会実施

アジェンダ

1. 開会宣言・点鐘	19:30
1. JCI Creed 唱和	19:31
1. JCI Mission 並びに JCI Vision 唱和	19:32
1. JC 宣言文朗読 並びに 綱領・LOM スローガン 唱和	19:33
1. 出席調査	19:34
1. 理事長挨拶	19:37
1. 議長選出	19:41
1. 定足数の確認	19:41
1. オブザーバーの承認	19:42
1. 議事録作成人及び署名人指名	19:43
1. 資料の確認	19:43
1. 審議事項	19:44
第1号議案 公益社団法人彦根青年会議所	19:44
2024年度理事長・監事候補者選考委員承認の件	
1. 各候補者の挨拶	19:47
1. 監事総評	19:56
1. 閉会宣言・点鐘	20:02

6月12日	6月臨時総会決議事項をメールリストにて報告
6月13日	欠席者へのヒアリング開始
6月19日	事業報告書作成開始
7月11日	6月臨時総会の議事録確認依頼開始
7月19日	6月臨時総会議事録を公式WEBサイト上にアップ
8月23日	理事会にて事業報告書上程

6. [開催目的の実現と成果]

- ・メンバーLINE グループを活用し、約1ヶ月前から6月臨時総会の内容を発信し周知を行うことで、メンバーに総会の重要性を理解いただく契機になったと考えます。

7. [実施上の問題点]

- ・総会終了時刻を20時26分としていましたが、実際は20分以上早く終了しました。メンバーの皆さんの貴重な時間を使い開催しているため、次年度理事長候補者、監事候補者をお祝いする設えを考えるなど、もう少し工夫が出来たのではないかと考えます。
- ・参加者数を増やすため、開会時間を19時30分としましたが、出席率53.1%と直近5年間で最も低い出席率となってしまいました。本総会が、次年度の理事長候補者・監事候補者を承認いただく重要な総会であることをしっかりと周知し、メンバーが参加する意識をもっと高める必要があったと考えます。

8. [次年度への引継事項]

- ・6月臨時総会は、次年度の理事長・監事候補者を承認いただく重要な総会であることを事前にメンバーSNS等を用いて周知し、歴の浅いメンバーの参加意識も高めていただきたい。

- ・出席予定メンバーも仕事の都合や体調不良により当日欠席となることがあるため、総会の開会時間を19時30分にすることは少しでも参加者を増やすうえで一定の効果があるものと考えます。次年度も、少しでも出席率が高まるような設えや発信方法を検討いただきたい。

9. [添付資料の種類]

- ・参考資料-1 総会風景
- ・参考資料-2 欠席理由ヒアリング結果
- ・参考資料-3 過去5年間正会員及び卒業生出席状況

10. [その他]

- ・以下、6月臨時総会決議事項

第1号議案 2024年度理事長候補者・監事候補者選考委員選出の件
以下の3君が、2024年度理事長候補者・監事候補者として承認されました。

2024年度理事長候補者 澤井 雄一 君
2024年度監事候補者 木田 乃輔 先輩
2024年度監事候補者 橋本 一幾 君

事業収支決算書

[様式:報-2-1]

<事業報告収支決算書>

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額	摘要
(収入の部)				
1. 本会計からの繰入金	10,000	10,000	0	
収入計	10,000	10,000	0	
(支出の部)				
1. 会場設営費	10,000	10,000	0	
支出計	10,000	10,000	0	
収支差額	0	0		

※上記収支差額(剰余金)は第10回の理事会の承認を経て本会計に繰り入れる

[様式:報-2-2]

<収入明細書>

(単位:円)

科目	細目	摘要	予算額	決算額	差額	備考
1. 本会計からの繰入金		2023年度6月臨時総会	10,000	10,000	0	
	小計		10,000	10,000	0	
合計			10,000	10,000	0	

[様式:報-2-3]

<支出明細書>

(単位:円)

科目	細目	摘要	予算額	決算額	差額	備考
1. 会場設営費	会場費	文教スタジオ5階	10,000	10,000	0	
	小計		10,000	10,000	0	
合計			10,000	10,000	0	

予算との主な差異

(収入) なし

(支出) なし

< 6月臨時総会風景 >



＜欠席理由ヒアリング結果＞

欠席者：15名（内 正会員14名）

- ・仕事の都合 11名（73.3%）
- ・体調不良 1名（6.6%）
- ・連絡がつかない 2名（13.3%）
- ・その他 1名（6.6%）

●総務広報委員会

- ・上田 一八君 …… 家庭の事情で欠席
- ・車 宝超君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席
- ・木村 佳史君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席
- ・檜原 大輝君 …… 連絡がつかない
- ・福原 悠平君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席
- ・村上 元気君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席

●組織の輪確立委員会

- ・青木 克実君 …… 連絡がつかない
- ・奥田 拓郎君 …… 仕事が長引いたため開会に間に合わず欠席
- ・杉 康輔君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席
- ・西村 健太郎 …… 仕事の都合で時間調整ができず欠席
- ・山田 雅崇君 …… 仕事の都合で時間調整ができず欠席

●地域共創委員会

- ・西村 直人君 …… 体調不良で通院のため欠席
- ・土田 浩史君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席
- ・高橋 寛之君 …… 仕事が長引いたため開会に間に合わず欠席

●仮入会員

- ・近久 和輝君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席

過去5年間6月臨時総会メンバー出席率

開催日時	正会員	場所
2019年 6月 6日（木） 19時～	25/35（71.4%）	文教スタジオ
2020年 新型コロナウイルスの影響により書面決議を実施。		
2021年 6月 6日（日） 19時～	23/33（69.4%）	文教スタジオ
2022年 6月 6日（月） 19時～	24/31（77.4%）	文教スタジオ
2023年 6月 9日（金） 19時30分～	17/32（53.1%）	文教スタジオ

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第10回理事会3号議案

議案名 : 創立70周年記念祝賀懇親会収支予算書変更
 提案者 : 70周年実行実行特別委員会
 作成者 : 中西 雄也
 上程月日 : 2023年 8月23日

目次	上程スケジュール
審議事項提案書 (1) ページ～ (2) ページ	第34回 執行部会 2023年 7月14日 協議
収支予算書 (2) ページ～ (3) ページ	第35回 執行部会 2023年 7月19日 協議
行動計画書 (4) ページ	第15回 財政規則特別委員会 2023年 8月 1日 審査
添付資料 (4) ページ	第36回 執行部会 2023年 8月 9日 審議
最終ページ (4) ページ	第10回 理事会 2023年 8月23日 審議

1. [事業計画提案名]

創立70周年記念祝賀懇親会収支予算書変更の件

2. [運動指針該当項目]

- ・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
 「まち」のチカラ・・・“ひこねオリジナル”の提唱による活気溢れる地域の創造
 「ひと」のチカラ・・・使命感と行動力を持った“ひこねびと”の伝承
 「こころ」のチカラ・・・“ひこねスピリット”が漲る活力ある地域社会の継承
 「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像
 「夢」のチカラ・・・希望溢れるひこね愛の高揚と伝播

3. [事業の目的と意義：対外] (第6回理事会にて承認済み)

創立70周年記念祝賀懇親会に来賓、特別会員および他LOMのJC関係者をお招きし、彦根青年会議所の本質やこれまでの歩みを共有するとともに、懇親を図る中で先輩諸兄姉の尽力と関係者の皆様のご協力によって70年の大きな節目を迎えたことへの感謝と敬意を表すことにより、今後も飛躍し続けていく我々への更なるご支援、ご協力を賜る契機にしたいと考えます。

4. [事業の目的と意義：対内] (第6回理事会にて承認済み)

創立70周年記念祝賀懇親会を開催し、彦根青年会議所の本質やこれまでの歩みを再認識し今後の運動の方向性を見据えた全メンバーが一致団結しておもてなしを行い、メンバー間の結束力を更に高めるとともに、来賓、特別会員や他LOMのJC関係者との懇親を図る中からこれまでの歴史に感謝と敬意を再認識することにより、今後も更なる躍進を続けていく青年会議所運動への新たな一歩へと繋げたいと考えます。

5. [事業計画の概要・推進方法]

なし

6. [前年度よりの引継事項] (創立60周年記念祝賀懇親会より)

なし

7. [本年度の工夫と期待される効果]

- ・ソーラン節においてメンバー全員で法被を着用することにより、来賓、特別会員や他LOMのJC関係者に

彦根青年会議所の団結力を示すとともに、懇親会を更に盛り上げ楽しんでいただく一助になると考えます。

8. [執行部会での意見]

なし

9. [添付資料の種類]

- ・参考資料ー1 ソーラン節衣装及びLOMスロ幕

10. [その他]

- ・LOMスロ幕は、紛失や汚損があったものについて新たに作成したため予算に追加させていただきました。

事業計画収支予算書

[様式:計-2-1]

<事業計画収支予算書>

(単位:円)

科目	予算額	2013 度予算額	2013 度決算額	摘要
(収入の部)				
1. 本会計からの繰入金	<u>1,003,192</u>	733,953	733,953	
収入計	<u>1,003,192</u>	733,953	733,953	
(支出の部)				
1. 会場設営費	260,100	490,136	358,866	
6. 旅費・交通費	0	40,000	0	
8. 参加記念品費	0	203,817	203,817	
9. 印刷費	85,659	0	0	
10. 通信費	124,971	0	0	
16. 雑費	<u>532,462</u>	0	0	
支出計	<u>1,003,192</u>	733,953	562,683	
収支差額	0	0	171,270	

[様式:計-2-2]

<収入明細書>

(単位:円)

科目	細目	摘要	金額	備考
1. 本会計からの繰入金		創立70周年記念祝賀懇親会	<u>1,003,192</u>	
	小計		<u>1,003,192</u>	
合計			<u>1,003,192</u>	

(単位:円)

科目	細目	摘要	金額	備考
1. 会場設営費	会場費	会場代(マリアージュ彦根シャトアイアンの間)	40,000	
	設営費	吊り看板代 800mm×5,000mm	20,000	
		アルファパネル(写真用)@2,500×8 台	22,000	
	会場費	会場代(ペルテフォーリア 会場備品含む)	100,000	
	設営費	吊り看板代 800mm×5,000mm	33,000	
		看板取付部材	5,500	
		アルファパネル(写真用)@2,500×8 台	22,000	
		置き看板 900×1,800 @8,000×2	17,600	
小 計			260,100	
9. 印刷費		招待状成(Wカード) @56.8×541 枚	30,723	
		封筒作成(洋封筒) @31.5×541 枚	17,066	
		宛名印刷 @70×541 枚	37,870	
	小 計			85,659
10. 通信費	対外通信費	招待状 @84×541 枚	45,444	
		返信用はがき@63×541 枚	34,083	
		礼状 @84×541 枚	45,444	
	小 計			124,971
16. 雑費		大リボン(赤) @790×28 個	22,120	
		中リボン(赤) @565×101 個	57,065	
		バラリボン用リボンタレ(大) @120×28 枚	3,360	
		バラリボン用リボンタレ(中) @100×101 枚	10,100	
		筆耕代@110×129 枚	14,190	
		芳名帳@800×10 冊	8,800	
		筆ペン@350×10 本	3,500	
		サインペン@81×10 冊	810	
		法被 @5,929×33 枚	195,657	
		足袋 @380×22 枚	8,360	
		LOM スロ幕@7,700×5 枚	38,500	
		ハチマキ@200×20 本	4,000	
		70周年ロゴ入り大漁旗 1,200×1,800	13,000	
		和太鼓レンタル費	16,500	
		ムービー作成費(オープニングムービー)	70,000	
		ムービー作成費(ソーラン節ムービー)	50,000	
		運送費	16,500	
小 計			532,462	
合 計			1,003,192	

行動計画書

事業名	創立70周年記念祝賀懇親会収支予算書変更			
期間	企画開始 2023年 7月19日 ~ 企画終了 2023年 8月23日			
行動計画	月日	内容		確認印
	7月14日	執行部会にて内容協議		
	7月19日	執行部会にて内容協議		
	8月9日	執行部会にて内容協議		
	8月23日	理事会に事業計画書上程		

参考資料-1

ソーラン節衣装及びLOMスロ幕

208-9663 ||| 備考：両面レザーハット×6箇所



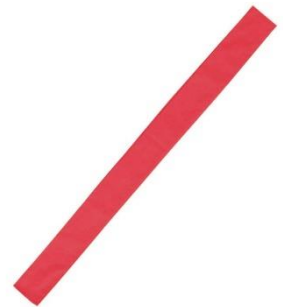
A-2
決定 修正

※1.ロゴ等のトレース、イラスト作成、3割以上の修正が発生した場合は、別途費用がかかる場合があります。
 ※2.デザインの色につきましては、実際の印刷物と異なる場合がありますので、ご注意ください。
 ※3.印刷物の仕様により印刷できない文字や、印刷できない場合は印刷の範囲を拡大して頂くか、DIC番号での指定をお願い致します。
 ※4.□決定 □修正がある場合は、チェックしていただき、メールまたはFAXにてご返信下さい。 *印刷物の製法は印刷決定後に確認させていただきます。

LOMスロ幕

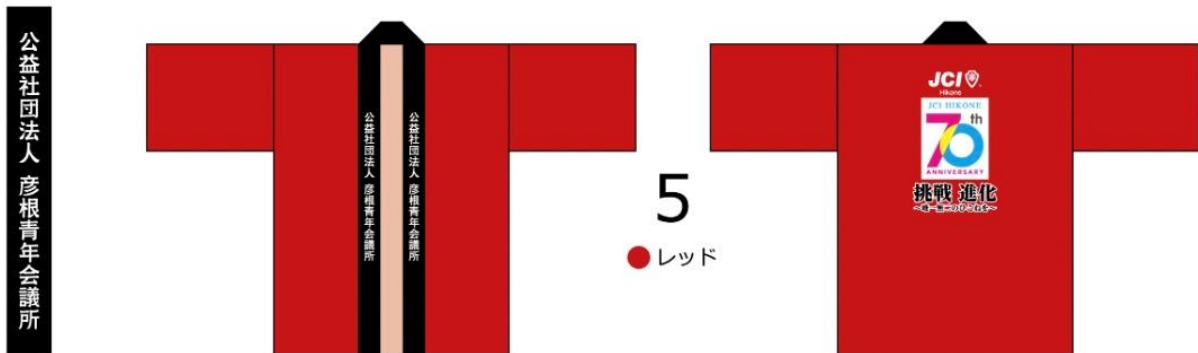


足袋



ハチマキ

※孤大イメージ



法被

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第10回理事会4号議案

議案名 : 創立70周年記念式典収支予算書変更
 提案者 : 70周年実行実行特別委員会
 作成者 : 夏原 慶
 上程月日 : 2023年 8月23日

目次	上程スケジュール
協議事項提案書(1) ページ～(2) ページ	第34回執行部会 2023年 7月14日 協議
収支予算書(3) ページ～(4) ページ	第35回執行部会 2023年 7月19日 協議
行動計画書(4) ページ	第15回財政規則特別委員会 2023年 8月1日 審査
添付資料(4) ページ	第36回執行部会 2023年 8月9日 審議
最終ページ(4) ページ	第10回理事会 2023年 8月23日 審議

1. [事業計画提案名]

創立70周年記念式典収支予算書変更の件

2. [運動指針該当項目]

- ・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
- 「まち」のチカラ・・・“ひこねオリジナル”の提唱による活気溢れる地域の創造
- 「ひと」のチカラ・・・使命感と行動力を持った“ひこねびと”の伝承
- 「こころ」のチカラ・・・“ひこねスピリット”が漲る活力ある地域社会の継承
- 「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像
- 「夢」のチカラ・・・希望溢れるひこね愛の高揚と伝播

3. [事業の目的と意義：対外] (第6回理事会にて承認済み)

彦根青年会議所創立70周年という節目の年に、これまで先輩諸兄が築いてこられた彦根青年会議所の歴史を振り返り、我々の運動を支えていただいた各方面の皆様への感謝の念を表すとともに、今後の運動の展望を伝え、更なるご支援、ご協力を賜る契機にしたいと考えます。

4. [事業の目的と意義：対内] (第6回理事会にて承認済み)

彦根青年会議所設立以来、脈々と受け継がれてきた70年という歴史の重みを現役メンバーが感じ、おもてなしの心を持って一致団結してその記念すべき瞬間を共に過ごすとともに、今後の運動の方向性を再認識することにより、メンバー一人ひとりの意識の向上に繋げ、彦根青年会議所の更なる発展に繋がる契機にしたいと考えます。

5. [事業計画の概要・推進方法]

なし

6. [前年度よりの引継事項]

なし

7. [本年度の工夫と期待される効果]

- ・登壇するメンバーがスリッパでなく靴を履くことにより、スリッパによる足音を無くし厳かな式典を演出するとともに、より安全で円滑な登壇やステージの設営が行えると考えます。

8. [執行部会での意見]

なし

9. [添付資料の種類]

参考資料ー1 追加項目

10. [その他]

なし

事業計画収支予算書

[様式:計-2-1]

<事業計画収支予算書>

(単位:円)

科 目	予算額	2013年度予算額	2013年度決算額	摘 要
(収 入 の 部)				
1. 本会計からの繰入金	<u>1,055,955</u>	506,110	506,110	
収 入 計	<u>1,055,955</u>	506,110	506,110	
(支 出 の 部)				
1. 会場設営費	<u>216,700</u>	74,940	75,852	
3. 資料作成費	4,400	133,732	78,327	
6. 旅費・交通費	158,400	0	0	
8. 参加記念品費	234,310	39,608	38,460	
9. 印刷費	0	40,640	31,500	
10. 通信費	0	147,320	88,640	
16. 雑費	<u>442,145</u>	69,870	57,470	
支 出 計	<u>1,055,955</u>	506,110	370,249	
収 支 差 額	0	0	135,861	

[様式:計-2-2]

<収入明細書>

(単位:円)

科 目	細 目	摘 要	金 額	備 考
1. 本会計からの繰入金		創立70周年記念式典	1,055,955	
	1. 本会計からの繰	小 計	1,055,955	
合 計			1,055,955	

[様式:計-2-3]

<支出明細書>

(単位:円)

科 目	細 目	摘 要	金 額	備 考
1. 会場設営費	会場費	プロシードアリーナHIKONE 多目的ホール 7/6~7/8	87,000	
		会議室2 7/7~7/8	4,430	
		会議室2 7/7~7/8	6,040	
	設営費	演台・花台	310	
		司会者台	210	
		ワイヤレスマイク @520×2本×3日分	<u>3,120</u>	
		有線マイク @520×2日分	<u>1,040</u>	
		マイクスタンド @50×2台×3日分	<u>300</u>	
		吊看板800mm×5000mm	33,000	
		立看板1800mm×900mm @8,800×2	17,600	
		看板取り付け部材一式	5,500	
		ステージ階段	3,300	
		多目的ホール冷暖房費 @800×19時間	<u>15,200</u>	
		会議室2冷暖房費	800	
		会議室3冷暖房費	800	
		長机 @50×5台	250	
椅子 @30×160台	4,800			

		演台花	33,000	
		小 計	<u>216,700</u>	
3. 資料作成費	資料作成費	メッセージカード@11×400枚	4,400	
	3. 資料作成費	小 計	4,400	
6. 旅費・交通費	交通費	バス @52,800×3台	158,400	
	6. 旅費・交通費	小 計	158,400	
8. 参加記念品費		賞状用紙	120	
		賞状用額縁	1,590	
		スポンサーJC記念品	33,000	
		参加者記念品@499×400	199,600	
		小 計	234,310	
16. 雑費		ムービー作成費(オープニング)	100,000	
		ムービー作成費(クロージング)	150,000	
		芳名帳 @800×10冊	8,000	
		バラリボン中 @565×81	45,765	
		リボンタレ中 @100×81	8,100	
		筆耕代 @110×81	8,910	
		スリッパ(レンタル) @110×400	44,000	
		トートバッグ @155×400	62,000	
		ポリ袋16号100枚(靴用) @360×4	1,440	
		登壇用スニーカー @1,393×10	<u>13,930</u>	
		小 計	<u>442,145</u>	
		合 計	<u>1,055,955</u>	

[様式：計-3]

行 動 計 画 書

事業名	創立70周年記念式典収支予算書変更の件		
期 間	企画開始 2023年 7月14日 ~ 企画終了 2023年 8月23日		
行動計画	月 日	内 容	確認印
	7月14日	執行部会にて内容協議	済
	7月19日	執行部会にて内容協議	済
	8月 9日	執行部会にて内容審議	済
	8月23日	第10回理事会に事業計画書を審議上程	

参考資料-1

追加項目
有線マイク



登壇用スニーカー



公益社団法人 彦根青年会議所
2023年度 事業計画書

第9理事会5号議案

議案名 : 9月度例会～輝け滋賀よ～開催
提案者 : 組織の輪確立委員会
作成者 : 丸山 義樹
上程月日 : 2023年 8月23日

目次	上程スケジュール
事業計画書 (1) ページ～ (4) ページ	第31回執行部会 2023年 6月14日 協議
収支予算書 (5) ページ	第32回執行部会 2023年 6月22日 協議
行動計画書 (6) ページ	第14回財政規則特別委員会 2023年 7月 3日 審査
添付資料 (7) ページ～ (21) ページ	第33回執行部会 2023年 7月 5日 審議
最終ページ (21) ページ	第9回理事会 2023年 7月25日 審議
	<u>第36回執行部会 2023年 8月 9日 審議</u>
	<u>第37回執行部会 2023年 8月16日 審議</u>
	<u>第10回理事会 2023年 8月23日 審議</u>

1. [事業計画提案名]

9月度例会～輝け滋賀よ～開催の件

2. [運動指針該当項目]

・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちにチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像

3. [事業の目的と意義：対外]

第53回滋賀ブロック大会守山大会「滋賀はひとつ」を解き放つ～各地の魅力を灯し、心をひとつに滋賀よ輝け～」に滋賀ブロックを構成する青年会議所の一員として参加し想いを共有することにより、滋賀ブロック協議会および県内9LOMからの理解を深め更なる絆を構築する一助にしたいと考えます。

4. [事業の目的と意義：対内]

第53回滋賀ブロック大会守山大会「滋賀はひとつ」を解き放つ～各地の魅力を灯し、心をひとつに滋賀よ輝け～」を体感し滋賀ブロック協議会の一員であることの認識を深めるとともに、県内9LOMの魅力を knowing ことにより、今後の活動に活かす契機にしたいと考えます。

5. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) 2023年 9月 9日 (土) 7:30～20:07
② (実施場所・会場) <例会セレモニー (開会)> 9:10～ 9:25
場所: あまが池プラザ 3Fいきいき活動広場
住所: 滋賀県守山市勝部1丁目13-1
電話: 077-514-2505
<式典> 10:10～13:00 (受付開始9:00)
場所: 守山市民運動公園 市民体育館 大アリーナ

住所：滋賀県守山市三宅町100
電話：077-583-5354

<記念事業> 11:00~16:00

場所：守山市民運動公園休養広場及びその付近

住所：滋賀県守山市三宅町

電話：077-583-5354

<卒業式・懇親会> 17:45~19:40

場所：守山市民運動公園 市民体育館 大アリーナ

住所：滋賀県守山市三宅町100

電話：077-583-5354

<例会セレモニー（閉会）> 20:00~20:07

場所：守山市民運動公園 市民体育館

住所：滋賀県守山市三宅町100

電話：077-583-5354

③ (予 算 総 額)

17,260円

※詳細は [様式：計-2-1~3] 事業計画収支予算書参照

④ (外 部 協 力 者)

なし

⑤ (参加者動員計画)

47名 (正会員32名、仮入会会員13名、外部監事2名)

⑥ (宣伝・推進方法)

委員会訪問にてPR

メールリングリストにてPR

委員長連絡会議にてPR

⑦ (事 業 概 要)

アジェンダ

1. 集合 (彦根商工会議所) 7:30

1. 乗り合わせにて出発 7:40

1. 例会会場到着 8:50

【例会セレモニー（開会）】

1. 受付開始 9:00

1. 開会宣言・点鐘 9:10

1. 国歌斉唱 9:11

1. JCソング斉唱 9:13

1. JCI Creed唱和 9:15

1. JCI Mission並びにJCI Vision唱和 9:16

1. JC宣言文朗読並びに綱領・LOMスローガン唱和 9:17

1. 理事長挨拶 9:18

1. グループ発表 9:23

1. 式典会場へ移動 9:25

【第53回滋賀ブロック大会守山大会 式典】

1. 受付 9:50

1. 開会 10:10

1. 閉会 13:00

1. 記念事業会場へ移動 13:01

1. 記念式典から学ぼう記載タイム 13:06

【第53回滋賀ブロック大会守山大会 記念事業】

1. 開会 13:30

1. 閉会 16:00

1. 卒業式会場へ移動 16:01

【第53回滋賀ブロック大会守山大会 卒業式】

1. メンバー着席	16:20
1. 開会	16:30
1. 閉会	17:10
【第53回滋賀ブロック大会守山大会 大懇親会】	
1. 入場	17:45
1. 開会	18:00
1. 閉会	19:40
【例会セレモニー（閉会）】	
1. 監事所感	20:00
1. 閉会宣言・点鐘	20:05
1. 閉会セレモニー終了	20:07

6. [前年度よりの引継事項] (2019年度移動例会)

- ・卒業生や滋賀県下青年会議所メンバーの記憶に残る卒業式とするためにも、卒業記念品を身に着けるものなどの目に付きやすいものとするので、お祝いや感謝の意を感じていただける記念品を検討いただきたい。
- ・滋賀ブロック大会を移動例会として開催される場合は、開催日が通常の6日開催でない可能性が高くなります。より多くのメンバーが移動例会に参加するためにもPR活動を早い段階から行っていただきたい。

7. [本年度の工夫と期待される効果]

- ・第53回滋賀ブロック大会守山大会を移動例会として参加することにより、県内9 LOMおよび滋賀ブロック協議会への活動内容を共有するとともに、ブロック大会の魅力を感じ、学びの場を創出したいと考えます。
- ・第53回滋賀ブロック大会守山大会において、カラムを他LOMのメンバーに体験していただき、他LOMの魅力を経験することにより、ひこねの魅力や活動の一部を知っていただくとともに、他LOMを知る契機になり互いの理解を深める一助になると考えます。
- ・第53回滋賀ブロック大会守山大会記念式典に参加し印象に残ることを見つけることにより、今後の活動目標や、方向性を知るとともに、記念式典の中で得られる学びを見つける契機になると考えます。
- ・第53回滋賀ブロック大会守山大会記念事業にてクイズ形式にして散策していただくことにより、滋賀の魅力をもっと細かく知るとともに、滋賀ブロック協議会への活動の理解を深め、喜びや感謝の気持ちを再認識する契機になると考えます。
- ・第53回滋賀ブロック大会守山大会において、より意識して名刺交換することにより、他LOMのメンバーと話すきっかけを作るとともに、互いのことを知り、新たな信頼関係を構築する一助になると考えます。
- ・第53回滋賀ブロック大会守山大会中、発見した魅力を全体LINEにて投稿することにより、随時、想いを全メンバーに伝えられるとともに、楽しさ共有する契機になると考えます。
- ・第53回滋賀ブロック大会守山大会大懇親に参加することにより、他LOMとの交流を図れる機会となり、彦根青年会議所メンバーのみならず、県内のメンバーとの絆を深める一助になると考えます。
- ・滋賀ブロック協議会について情報を事前に発信することにより、移動例会としての学びをより効果的なものにするのと同時に、活動への理解を深める契機になると考えます。
- ・滋賀ブロック大会守山大会についての情報を事前に発信することにより、参加意欲を高め、より多くのメンバーで移動例会としての参加する契機になると考えます。
- ・卒業会員にメッセージ入り大傘を作成し、登壇していただくことにより、卒業会員へ感謝の意を伝えるとともに、良き思い出として記憶に残る卒業式にしていただきたいと考えます。

8. [執行部会での意見]

メンバーが滋賀ブロック協議会への理解を深め、ブロック大会の大切さを知る例会を設営されたし。

9. [添付資料の種類]

- 審議資料ー1 ブロック大会を楽しもう！学ぼう！
- 審議資料ー2 会場レイアウト図

審議資料-3 卒業記念品イメージ図

参考資料-1 第53回滋賀ブロック大会守山大会 開催テーマおよび趣旨

参考資料-2 各会場位置関係図

参考資料-3 カロムルール

10. [その他]

- ・卒業式・大懇親会登録料は、5,000円です。
- ・服装は、日本青年会議所規定のスマートカジュアル（JCバッジ・ネームプレート）但し、式典登壇予定者はネクタイの着用をお願いいたします。
- ・事前にカロムのルールを配信致しますので覚えていただくようによろしくお願い致します。
- ・第9回理事会の意見と対応
(意見) 事業の目的と意義: 対外について本年度の工夫と期待される効果が記載されていないのですがどうお考えでしょうか。
(対応) 目的と意義の対外について修正し、参考資料-3にカロムのルールを記載しました。
(意見) 審議資料-1の記念式典から学ぼうについて4項目ある内の一つ選ぶのではなく、全て記載していただけたらいいのではないのでしょうか。
(対応) 内容を修正し、変更致しました。
(意見) 実施場所・会場に記載されているセレモニーの時間とアジェンダの時間が違うのですが、どちらが正しいのでしょうか。
(対応) 実施場所・会場のセレモニー時間を修正し、変更致しました。
(意見) 予算総額と予算書の金額が違うので確認してください。
(対応) 予算総額を修正し、記載致しました。
(意見) 4ページ目添付資料の種類と記載されている資料が違うので確認してください。
(対応) 添付資料の種類を修正し記載致しました。
(意見) 会務報告から出向報告までを事前に配信した事があるのですがそちらもご検討ください。
(対応) 事前に配信致します。
(意見) 移動手段は委員会メンバーで車を出されるのでしょうか?
(対応) 委員会メンバーで車を出します。
(意見) 記念式典から学ぼうの回答はどのタイミングでしたらよろしいでしょうか。
(対応) 記念式典終了後から、記念事業開会まで約15分ありますので、その時間で記載していただきます。
(意見) グループごとに別れて行動するのであれば、宝源、カロム体験の担当する時間を決めておかないとうまく魅力ブースを回れないと思うのですがいかがでしょうか。
(対応) グループごとに担当する時間を記載致しました。

事業計画収支予算書

[様式:計-2-1]

<事業計画収支予算書>

(単位:円)

科 目	予算額	2019年度予算額	2019年度決算額	摘 要
(収入の部)				
1. 本会計からの繰入金	17,260	17,292	16,800	
収入計	17,260	17,292	16,800	
(支出の部)				
1. 会場設営費	2,600	600	600	
8. 参加記念品費	14,660	16,200	16,200	
10. 通信費	0	492	0	
支出計	17,260	17,292	16,800	
収支差額	0	0	492	

[様式:計-2-2]

<収入明細書>

(単位:円)

科 目	細 目	摘 要	金 額	備 考
1. 本会計からの繰入金		9月度例会～輝け滋賀よ～開催	17,260	
	小 計		17,260	
合 計			17,260	

[様式:計-2-3]

<支出明細書>

(単位:円)

科 目	細 目	摘 要	金 額	備 考
1. 会場設営費	会場費	あまが池プラザ3F	2,600	
	小 計		2,600	
8. 参加記念品費		卒業記念品 大番傘@6,780×2	13,560	
8. 参加記念品費		ゼブラハイマッキー	1,100	
		小 計	14,660	
合 計			17,260	

行 動 計 画 書

事業名	9月度例会～輝け滋賀よ～開催		
期間	企画開始 2023年 5月 5日 ～ 企画終了 2023年11月24日		
行 動 計 画	月 日	内 容	確認印
	2023年 5月 5日	委員会にて基本コンセプト協議	済
	6月15日	委員会にて詳細を検討	済
	6月25日	会場仮押さえ 委員会にて詳細を検討	済
	6月27日	委員会にて詳細を検討	済
	7月 3日	委員会にて詳細を検討	済
	7月13日	委員会にて詳細を検討	済
	7月25日	理事会に事業計画書上程	済
	<u>8月15日</u>	<u>委員会にて詳細を検討</u>	<u>済</u>
	<u>8月23日</u>	<u>理事会に事業計画書上程</u>	
	<u>8月24日</u>	<u>会場正式予約</u> <u>大番傘発注</u>	
	<u>8月 下旬</u>	委員会訪問にてPR開始 大番傘作成開始 出席確認開始 メーリングリストおよびSNSにてPR開始	
	9月 9日	9月度例会～輝け滋賀よ～開催	
	9月 中旬	委員会にて事業報告書作成開始	
11月24日	理事会に事業報告書上程		

ブロック大会を楽しもう！学ぼう！概要

【開催趣旨】

第53回滋賀ブロック大会守山大会「滋賀はひとつ」を解き放つ～各地の魅力を燈し、心をひとつに滋賀よ輝け～」に参加し滋賀ブロック協議会の一員であることの認識を深めるとともに、今後の活動目標や、方向性を知り、他LOMとの交流を図れる機会となると考えます。

記念式典では印象に残ったことを見つけていただくとともに、記念事業では滋賀の魅力を体感し、他LOMとの交流を深める中で滋賀ブロック協議会及び県内9LOMへの信頼関係を築く契機になると考えます。

1. 記念式典から学ぼう

【内容】

グループごとに別れて記念式典に参加していただき、4項目全てから一番印象に残ったことを、記載していただきます。また記入するのはグループで一番歴の浅いメンバーとし、他のメンバーは内容を理解し記入出来るように手助けしていただきます。

1. 会長挨拶
2. 来賓祝辞
3. 各委員会事業報告
4. 褒章発表

記念式典終了から記念事業開会まで約15分ありますので、その間にグループで話し合い、記載していただきます。

2. 記念事業から学ぼう

【内容】

グループごとに別れて記念事業に参加していただき、実際に体験しないと分からないことや、行ってみないと分からない事をクイズ形式にして答えを探していただきます。

(例題)

守山魅力ブースにてモリックとはどういったものでしょうか？

滋賀魅力ブースにて華火にて販売されているサンドイッチの中身はなんのでしょうか？

3. 滋賀の魅力を見つけよう

【内容】

ブロック大会一日を通してありとあらゆる魅力を発見し、写真に納め彦根青年会議所全体LINEに投稿していただきます。

各グループ最低3枚は投稿し彦根青年会議所全メンバーに共有していただきます。

4. 他LOMとの交流を深めよう

【内容】

ブロック大会一日を通してグループごとで他LOMのメンバーと名刺交換をし、名刺を集めていただきます。歴の浅いメンバーは積極的に声をかけ、出向歴のある方や、他LOMのメンバーと繋がりが多くの方はより多くのメンバーが名刺交換できるようにサポートしていただきます。

※理事長と専務理事は同グループとします。

※紙は手荷物になり、紛失や邪魔になる可能性があるためグーグルフォームにて記入していただきます。

※グーグルフォームは各グループの歴の一番浅いメンバーにのみ配布致します。

※グループ分けは、5グループで9人程度を想定しております。

宝源、カラム体験の店番に以下の時間で担当していただきます。

カラム体験

13:30~14:00 Aグループ

14:00~14:30 Bグループ

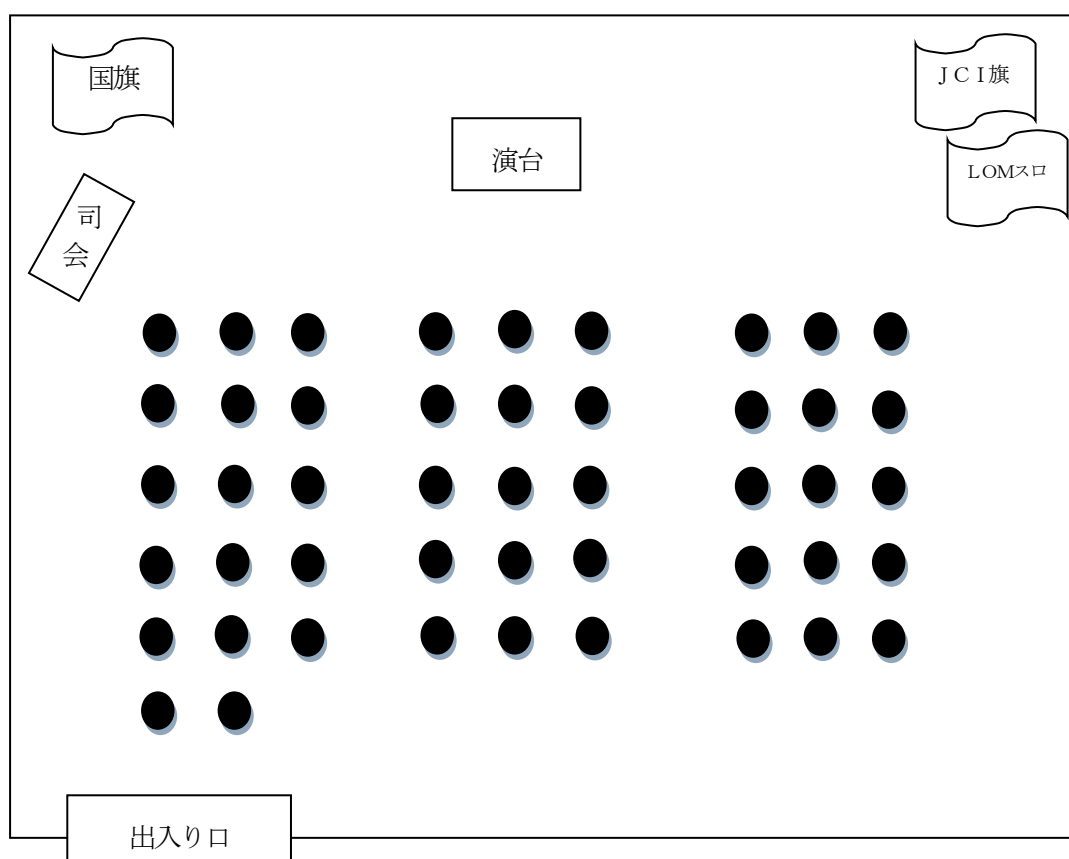
14:30~15:00 Cグループ

15:00~15:30 Dグループ

15:30~16:00 Eグループ

会場レイアウト図 (開会セレモニー時)

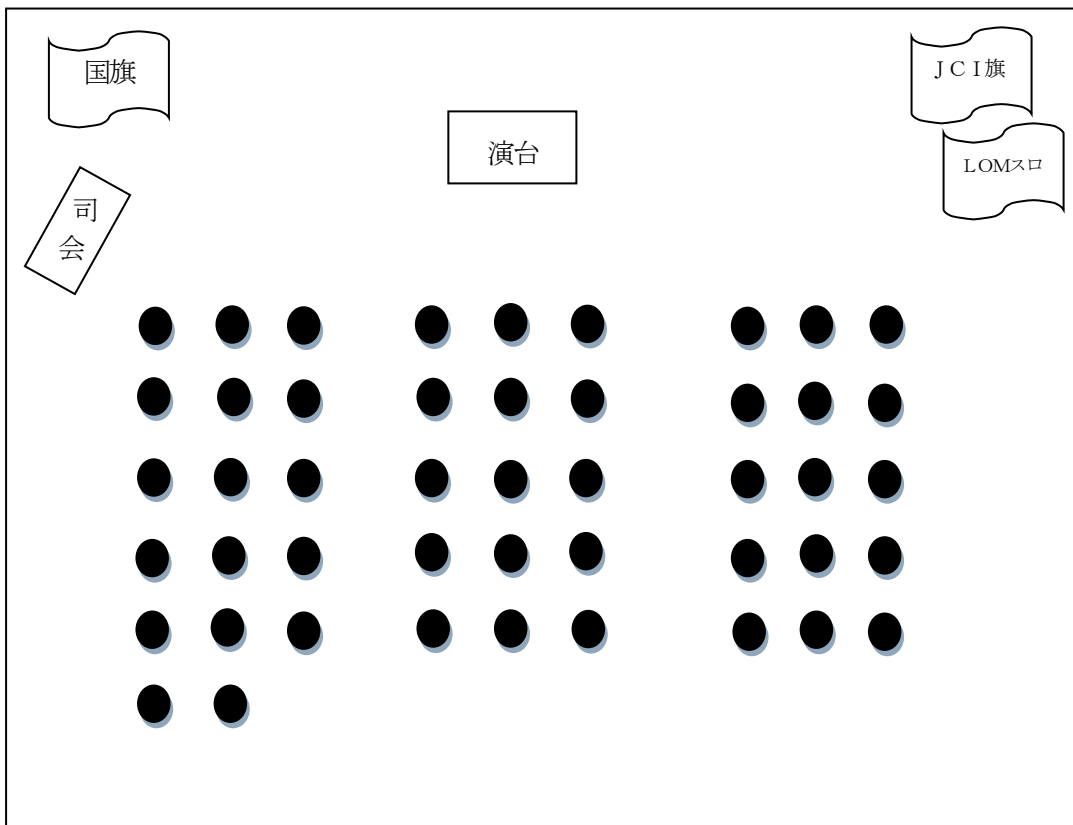
あまが池プラザ 3Fいきいき活動ひろば 13m×8m



【会場選定理由】

近隣に駐車場があり且つ滋賀ブロック大会守山大会会場から近いいため移動時間が削減でき、余裕を持った時間配分が可能です。また、定例会場との使用料を比べると安価なため効果的な予算組が出来るため本会場を選定いたしました。

会場レイアウト図（閉会セレモニー時）
 守山市民運動公園 守山市民体育館 駐車場



【会場選定理由】
 大懇親会終了が19時40分と比較的遅い時間のため、会場の駐車場ですることにより、移動時間の削減ができる
 と考えます。また、費用もかからないため、効果的な予算組が出来るため本会場を選定いたしました。

卒業記念品イメージ図

大番傘 (サイズ 全長76cm 傘の直径105cm)



【卒業記念品選定理由】

傘布に現役メンバーから卒業生へのメッセージを書いていただいた大番傘を卒業記念品として贈呈致します。色を白色にする事で現役メンバーからのメッセージを見やすくし、思い出に残る記念品とするとともに、これまでの活動に対するメンバーからの感謝の意を伝える一助にしたいと考えます。

第53回滋賀ブロック大会守山大会趣旨テーマ

「滋賀はひとつ」を解き放つ

～各地の魅力を^{とも}燈し、心をひとつに滋賀よ輝け～

1 滋賀は、日本最大の湖である琵琶湖を有し、多くの歴史遺産・文化資産と豊かな自然環境に恵ま
2 れた魅力溢れる県です。一方で、県内各地の魅力は個々の発信に留まっており、滋賀県一体として
3 の大きな魅力を打ち出すまでには至っていません。滋賀が持つポテンシャルを最大限に発揮するに
4 は、青年会議所メンバーが率先して行動を起こし、県民が県内各地にある魅力を再認識し、滋賀を
5 愛する心をひとつに大きな魅力を力強く発信していく必要があります。

6 第53回滋賀ブロック大会守山大会の開催地である守山市は、自治会加入率が9割を超え、地域
7 を愛する心で各世代が団結し地域づくりをおこない発展してきました。特徴的な例として、環境の変
8 化に伴い守山古来のホテルは一時絶滅の危機を迎えましたが、市民と行政が力を合わせ、ホテルの
9 人工飼育の研究を行い河川清掃や幼虫の放流を行うことで、再びホテルが飛び交う環境を復活させ
10 ました。市民の地域を愛する想いがつながりを作り、心をひとつにして発展してきた守山の地で、第
11 53回滋賀ブロック大会守山大会を開催することで、本大会に参加していただいた全ての方々に、人
12 と人とのつながりの大切さを再確認していただきます。また、私たち青年会議所メンバーが地域でよ
13 り活躍していくために、県内各地の運動や活動で培ってきた知識や経験の共有を行い、お互いの熱
14 い想いに触れ刺激しあうことで、個々の成長につなげます。そして、青年会議所メンバーと来場して
15 いただいた方々が滋賀のポテンシャルに改めて気づき、愛郷心を高め滋賀を発信していただくため
16 に、各地の魅力を集めるとともに、青年会議所メンバーと参加者で本大会を一緒に作り上げます。

17 第53回滋賀ブロック大会守山大会を通して、県内各地域の魅力を守山の地で^{とも}燈し、滋賀を愛す
18 る心をひとつにして、滋賀県を輝かせます。それが、本年度滋賀ブロック協議会が掲げるスローガン
19 である「SHIGA⇄JAPAN 顕在力を受信、潜在力を発信できる滋賀の創出」につながると確信し、本
20 大会を開催します。

記念事業チラシ

For one purpose

滋賀、



第53回滋賀ブロック大会守山大会記念事業
2023年9月9日(土)
 ブース出展 11~16時 / ステージ 13時30分~16時
 守山市民運動公園 休養広場近辺

ステージパフォーマンス&ブース出展有り!



**滋賀県の魅力が集結
 滋賀の魅力をおもいっきり感じよう!**

JCI Japan **SHIGA JAPAN**

【主催】公益社団法人日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会（主賓）公益社団法人守山青年会議所
 【後援】滋賀県、守山市
 お問い合わせ先：公益社団法人日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会ブロック大会運営委員会
 mail: info@enoriyama-jc.or.jp

魅力あふれてるんだってよ

会場マップ



滋賀魅力ステージ出演者

- Dance Studio Bati**
(ダンス)
- 近江兄弟社高校 ダンス部
(ダンス)
- よし笛 紫音
(演奏)
- 咲～saki～
(弾き語り)
- 八日市高校書道部
(書道パフォーマンス)
- 滋賀県立大学アカペラサークル TRI TONE
(アカペラ)
- 株式会社ミyakアート
(ストリートアート作成)
- PrimeTime
(テーマパークダンス)
- 兵主太鼓保存会
(太鼓演奏)
- 和のSmile
(日本舞踊)
- ルシオール・ユース・ウインド・オーケストラ
(吹奏楽)

滋賀魅力ブース会場

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| ① 宝串 (かき氷・からあげ) | ② lma art café (鹿肉カレー) |
| ③ あとり (からあげ、手羽元黒こしょう焼) | ④ かまーとの森 (朝宮茶デザート) |
| ⑤ 宝源 (からあげ、胡麻団子、揚げパン) | ⑥ 華火 (近江牛サンドイッチ) |
| ⑦ カメテク (近江牛ホルモン焼き) | ⑧ おで湖 (おでギョブサル) |
| ⑨ GEN (タコライス) | ⑩ アールズ食堂 (からあげ・ポテト) |
| ⑪ 上丹生ウッドベッカーズ (積み木デコレーション) | ⑫ 竹灯籠 絆 (竹灯籠) |
| ⑬ カロム協会 (カロム体験) | ⑭ アトリエアーノ (ハーバリウム) |
| ⑮ 矢野喬也 (ヤノタカヤ) (葦布シャツ) | ⑯ アイシングクッキー教室 ビノ (アイシングクッキー体験) |
| ⑰ a's fleur (花雑貨) | ⑱ 陶珍館 (信楽たぬき絵付け色付け体験) |
| ⑲ すまいる市 (野洲の魅力市) | ⑳ スマイルエンジニア (しいたけ販売) |

守山魅力ブース会場

- ① LAKE BIWA TRIATHLON (トライアスロン)
- ② モリック (びわもり風にアレンジしたモリック)
- ③ 守山観光物産協会 (守山の特産物)
- ④ 野々口農園 (守山産の獲れたて野菜)
- ⑤ 一汁三菜 (手作りシフォン)
- ⑥ 滋賀フーズ (守山メロンジュース)

会場周辺駐車場MAP



For one purpose

滋賀、



第53回滋賀ブロック大会守山大会記念事業
 2023年9月9日(土)
 ブース出展 11~16時 / ステージ 13時30分~16時
 守山市民運動公園 林養広場付近

ステージパフォーマンス&ブース出展有り!



**滋賀県中の魅力が集結
 滋賀の魅力をおもいきり感じよう!**

JCI SHIGA 滋賀県 JCI SHIGA 滋賀県 JCI SHIGA 滋賀県

魅力あふれてるんだってよ

タイムテーブル

- 13:30 ルシオール・ユース・ウインド・オーケストラ
- 13:45 主催挨拶
- 13:50 Dance Studio Bati
- 14:01 八日市高校書道部
- 14:11 青年会議所 PR (大津・近江八幡・草津)
- 14:18 Prime Time
- 14:28 咲~ saki ~
- 14:38 青年会議所 PR (長浜・東近江・彦根)
- 14:45 滋賀県立大学アカベラサークル TRI TONE
- 14:56 和のSmile
- 15:06 青年会議所 PR (水口・守山)
- 15:11 よし笛 紫音
- 15:22 株式会社ミャクアート
- 15:32 青年会議所 PR (野洲・栗東)
- 15:37 近江兄弟社高校 ダンス部
- 15:48 兵主太鼓保存会
- 15:58 主催挨拶

滋賀魅力ステージ会場

Dance Studio Bati (ダンス)	近江兄弟社高校ダンス部 (ダンス)
よし笛 紫音 (演奏)	咲~ saki ~ (弾き語り)
八日市高校書道部 (書道パフォーマンス)	滋賀県立大学アカベラサークル TRI TONE (アカベラ)
株式会社ミャクアート (ストリートアート作成)	株式会社PrimeTime (テーマパークダンス)
兵主太鼓保存会 (太鼓演奏)	和のSmile (日本舞踊)
ルシオール・ユース・ウインド・オーケストラ (吹奏楽)	

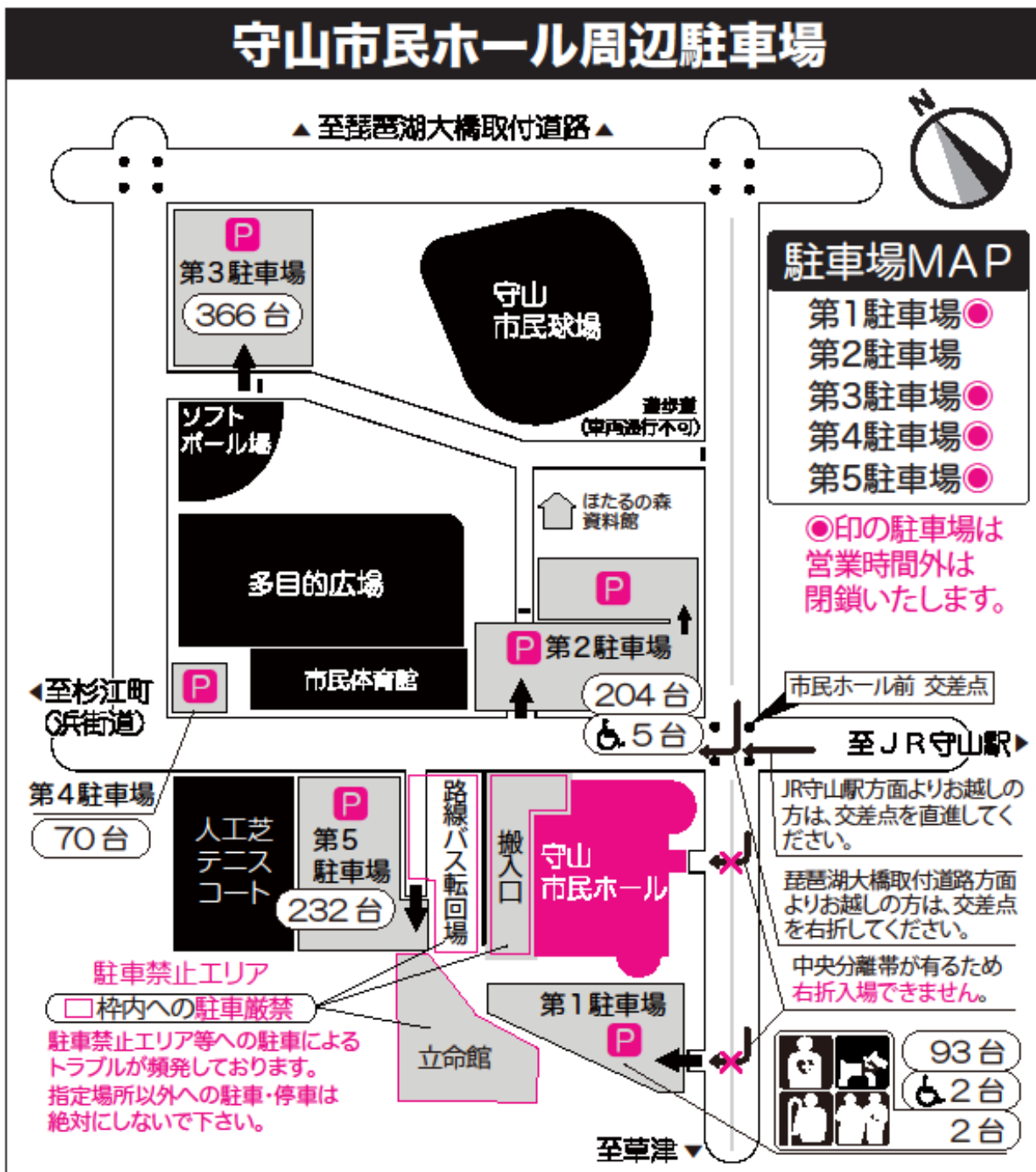
守山魅力ブース会場

- ① LAKE BIWA TRIATHLON (トライアスロン)
- ② モリック (びわもり風モリック)
- ③ 守山観光物産協会 (守山の特産物)
- ④ 野々口農園 (守山産の獲れたて野菜)
- ⑤ 一汁三菜 (手作りシフォン)
- ⑥ 滋賀フーズ (守山メロンジュース)

滋賀魅力ブース会場

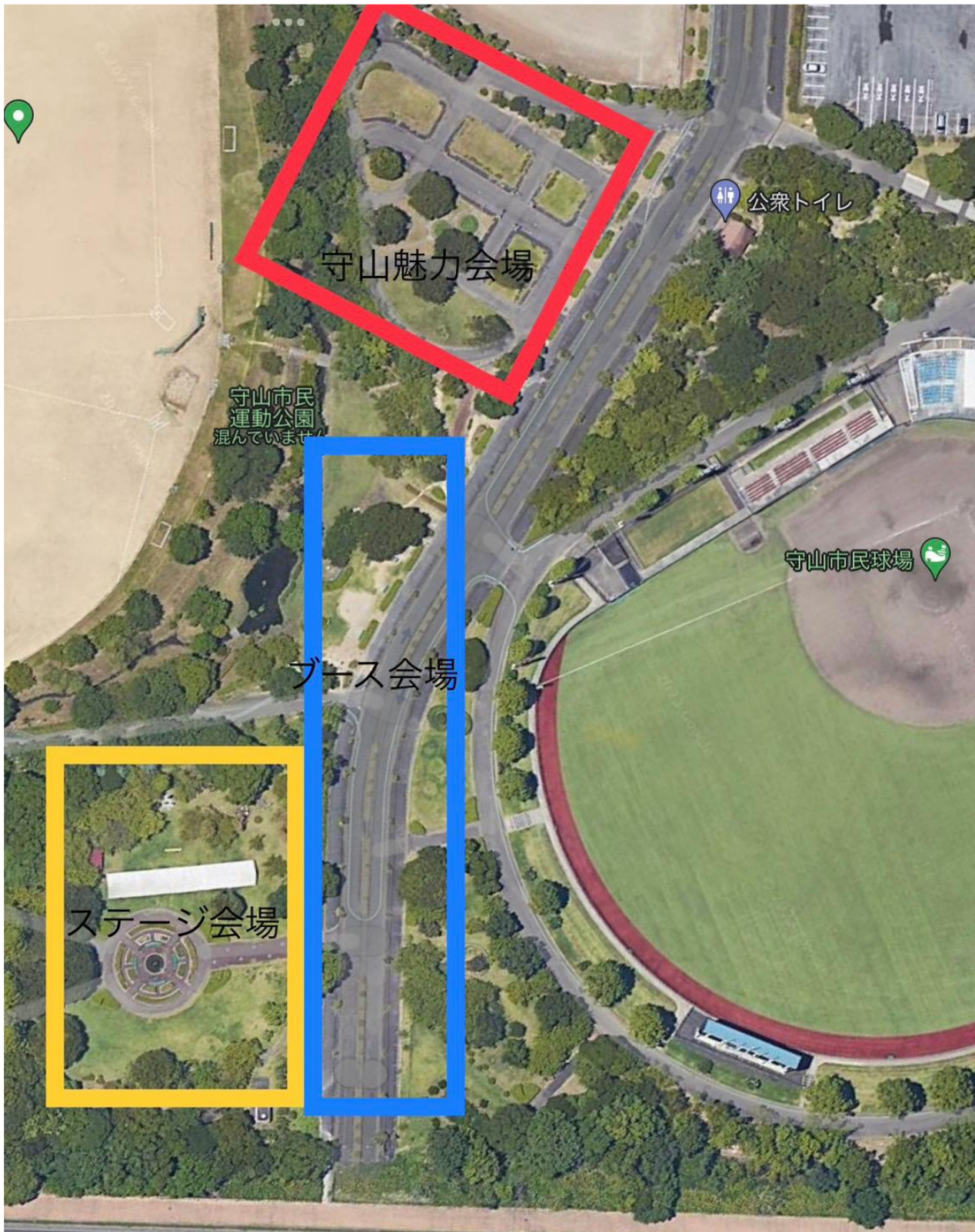
- ① 宝串 (かき氷・からあげ)
- ② lma art café (鹿肉カレー)
- ③ あとり (からあげ、手羽元黒こしょう焼)
- ④ かまーとの森 (朝宮茶デザート)
- ⑤ 宝源 (からあげ、胡麻団子、揚げパン)
- ⑥ 華火 (近江牛サンドイッチ)
- ⑦ カメチク (近江牛ホルモン焼き)
- ⑧ おで湖 (おでぎョブサル)
- ⑨ GEN (タコライス)
- ⑩ アールズ食堂 (からあげ・ポテト)
- ⑪ 上丹生ウッドベッカーズ (積み木デコレーション)
- ⑫ 竹灯籠 絆 (竹灯籠)
- ⑬ カロム協会 (カロム体験)
- ⑭ アトリエアーノ (ハーバリウム)
- ⑮ 矢野喬也(ヤノタカヤ) (葦布シャツ)
- ⑯ アイシングクッキー教室 ビノ (アイシングクッキー体験)
- ⑰ a's fleur (花雑貨)
- ⑱ 陶珍館 (信楽たぬき絵付け色付け体験)
- ⑲ すまいる市 (野洲の魅力市)
- ⑳ スマイルエンジニア (しいたけ販売)





注意事項

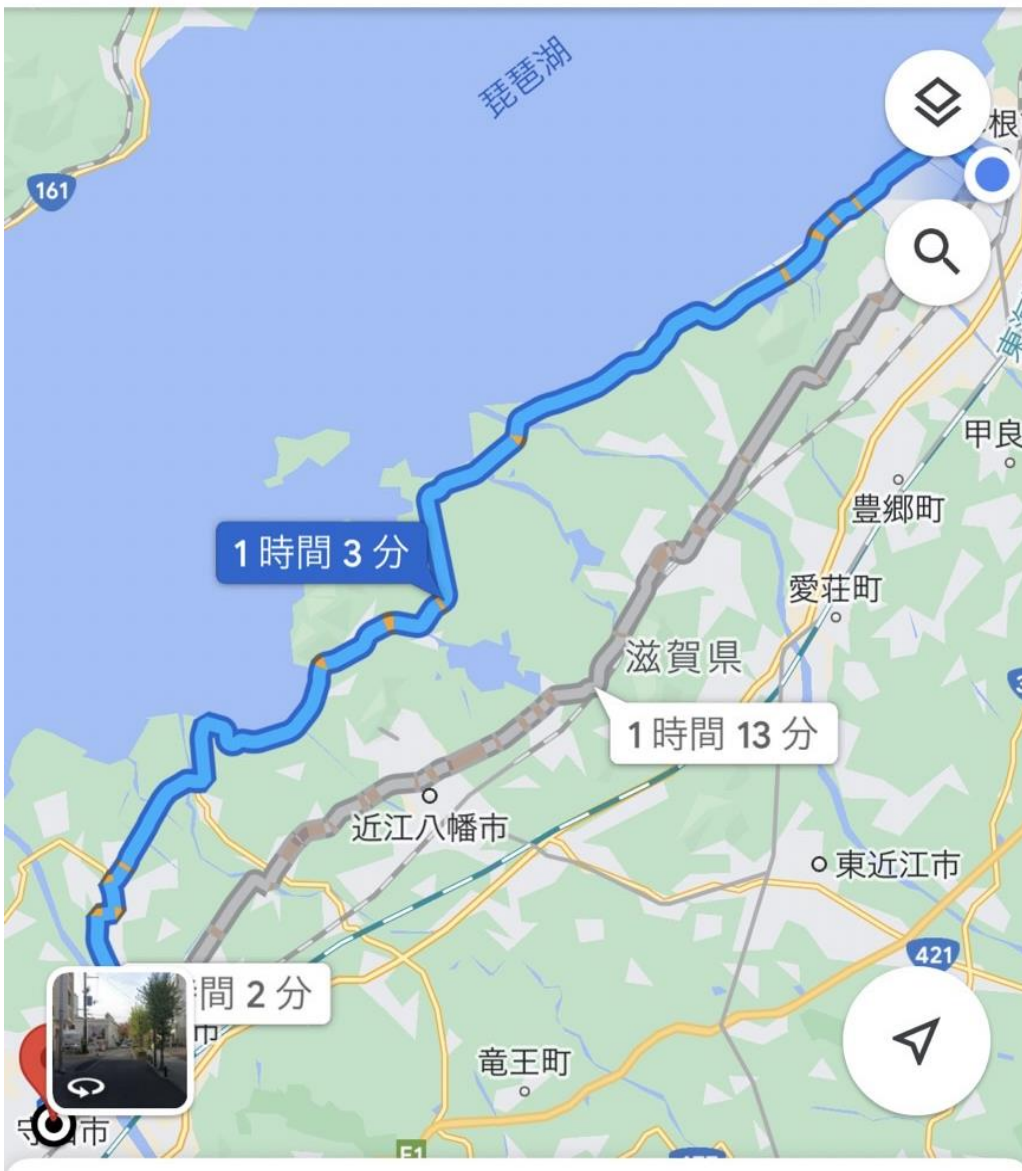
- 会場周辺の駐車スペース及び駐車台数は限られております。
- 施設の利用状況により駐車が困難な場合がございます。
- 守山市民ホール及び守山市民運動公園施設利用者の為の駐車場です。施設利用者以外の駐車・停車はご遠慮願います。
- 駐車禁止エリア等への駐車によるトラブルが頻発しております。禁止エリアへの駐車・停車は絶対にしないで下さい。
- 駐車スペース確保困難や周辺道路混雑における交通事情等により生じた損失(入場制限・途中入場など)に関して事業団は一切の責を負いません。
- 駐車場は記載内容以外に状況等により事前告知なしに「開放・閉鎖」等を行う場合があります。
- 基本的に普通車専用の駐車場となっております。バス・トラック等大型車を駐車する場合には事前にご連絡・ご相談をお願い致します(確保できない場合もございます)。



集合場所（彦根商工会議所）からセレモニー会場（あまが池プラザ）

Navigation interface showing the route from 彦根商工会議所 (Hikone Chamber of Commerce and Industry Association) to あまが池プラザ (Amagake Plaza). The route is estimated to take 1 時間 3 分 (1 hour 3 minutes) by car. Other options shown are 44 分 (44 minutes) by train and 8 時間 (8 hours) on foot. The interface also includes a search icon, a location pin icon, and a swap icon.

高速道路、有料道路、フェリーを使わない



1 時間 3 分 (42 km)

セレモニー会場（あまが池プラザ）から式典会場（守山市民運動公園 市民体育館）

Navigation interface showing the start and destination points and travel options.

Start: あまが池プラザ（守山市中心市街地…）

Destination: 守山市民体育館

Travel Options:

- 🚗 8分
- 🚗 25分
- 🚶 25分
- 🚶 8分
- ✈️

高速道路、有料道路、フェリーを使わない



8分 (2.4 km)

交通状況に基づいた現時点の最適ルート

カロムの遊び方・ルール

【競技スタイル】

● シングルス

1対1での対戦です。対戦者それぞれが向かい合って席に着きます。

● ダブルス

2人ずつのペアを組んで対戦します。対面同士が味方のペアになります。

【競技開始と終了】

● センターサークルに赤と緑のバックを交互に並べ、ジャックスポットにジャックを置きます。

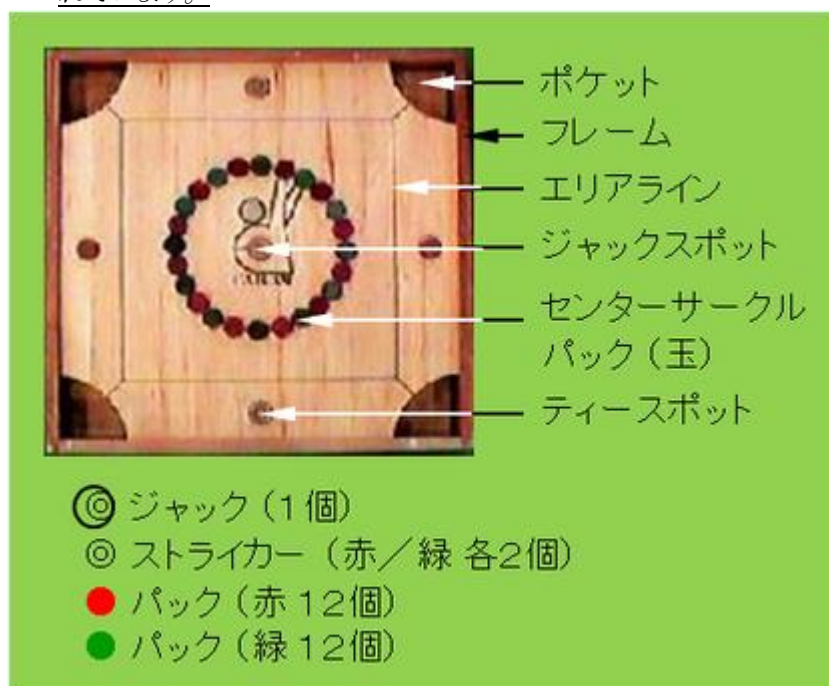
● じゃんけんをして勝った人が赤を受け持ち、先攻となります。

● 自分の色のストライカーで、自分の色のバックを4隅のポケットに入れ、最後にジャックを入れると勝ちです。

● ストライカーは、5本の指のどれかではじくように打ち、自分の色のバックをポケットに入れるように狙います。

● ダブルスの場合は、じゃんけんでは先攻が決まったら、その後は時計回りで順次打ちます。

◎彦根で行われているカロム日本選手権やCIグランプリなどの大会では1試合を5分の制限時間でプレイされています。



【ストライカーを打つ場所】

● いちばん最初だけはストライカーをティースポットに置いて打ちます。

● その後は、自分サイドのエリアラインの上にストライカーを乗せて打ちます。

(ストライカーが真上から見てエリアラインにかかっていたらOK)

【ストライカーの打ち方】

● 通常は中指を親指に引っ掛けて弾くように打ちますが、どの指で打っても反則ではありません。

● ストライカーと指はできるだけ接触させて弾くことを薦めます。

(間をあけて打つと爪を痛めることもあります)

【基本ルール】

● ストライカーでパックを打つときは、直接でも相手のパックに当ててからでも、フレームに当ててからでも構いません。

結果として自分の色のパックが入れば良いのです。

● 自分の色のパックが4隅のどこかのポケットに入ると、続けて打つことができます。

● 自分の色のパックがポケットに入らない時は、次の人の番になります。

● 自分の色のパックを全て入れ、最後にジャックを入れた方が勝ちとなります。

【ダブルスの場合の特別ルール】

● 自分のエリアライン内にあるパック（自分のも相手のもの）やジャックを自分のストライカーで直接打つことができません。

（ペアを組んでいる相手しか打てない）

● 自分のエリアラインに少しでも接しているパックは打つことができます。

【ミスとペナルティー】 ミスをするとペナルティーが生じます

<ミスの場面>

①自分が打ったストライカーがポケットに入ってしまった時

②自分のパックが全部入っていないのにジャックをポケットに入れた時

③玉が盤外に飛び出した場合

1. ストライカーが飛び出した時

2. 自分のパックが飛び出した時

3. 相手のパックが飛び出した時

4. ジャックが飛び出した時

④上記の時に、自分色のパックもポケットに入ったり、盤外に飛び出した時

⑤自分が打って相手のパックをポケットに入れてしまった時

<ペナルティー>

①既に入っている自分のパックを1個ジャックスポットに戻す

②自分色のパック5個とジャックをジャックスポットに積む

③玉が盤外に出たときの処理

1. 自分色のパックを1個ジャックスポットに戻す

2. 盤外に出たパックをジャックスポットに戻す（罰則は無し）

3. 盤外に出たパックをジャックスポットに戻す（罰則は無し）

4. 自分色のパック5個とジャックをジャックスポットに積む

④上記ペナルティー+自分色のパックを1個ジャックスポットに戻す

⑤相手へのサービスとなる（罰則はない）

【勝負の結果とスコア】

● 自分の色の全てのパック12個をコーナーのポケットに入れ、最後にジャックを入れた方が勝ちとなります。

● 勝った方には、まず100ポイントが与えられます。

さらに、パックが12個入っているので12ポイントが付加され、勝った人は112ポイントになります。

● 負けた人は、元の12個から盤上に残っている数を引いた数が得点となります。（4個残った場合は12-4=8ポイント）

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第10回理事会6号議案

議案名 : 10月度(家族)例会～someone important to me～開催

提案者 : 執行部

作成者 : 飛松 龍

上程月日 : 2023年 8月23日

目次	上程スケジュール
事業計画書 (1) ページ～(3) ページ	第34回執行部会 2023年 7月14日 協議
収支予算書 (4) ページ	第35回執行部会 2023年 7月19日 協議
行動計画書 (5) ページ	第15回財政規則特別委員会 2023年 8月1日 審査
添付資料 (6) ページ～(10) ページ	第36回執行部会 2023年 8月9日 審議
最終ページ (10) ページ	第9回理事会 2023年 8月23日 審議

1. [事業計画提案名]

10月度(家族)例会～someone important to me～開催の件

2. [運動指針該当項目]

- ・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
 - 「ひと」のチカラ・・・使命感と行動力を持った“ひこねびと”の伝承
 - 「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像
 - 「夢」のチカラ・・・希望溢れるひこね愛の高揚と伝播

3. [事業の目的と意義：対外]

私たちが日々の青年会議所活動に取り組み、地域の発展や自己成長に繋がる貴重な時間を与えていただけるのは、ご家族のご理解とご協力あってのことだと考えます。

本例会では、ご家族へ青年会議所活動やメンバーへの理解を深めていただくとともに、日々のご協力に対する感謝の想いを表すことにより、青年会議所活動への共感を生み出し、今後のより良い家庭環境を築く一助にしたいと考えます。

4. [事業の目的と意義：対内]

青年会議所活動のみにとらわれず、社業や日常生活において支えとなるご家族との良好な関係性を構築しなければ、組織としての大きな飛躍は無いと考えます。

本例会では、ご家族のご協力に対する重要性を再認識するとともに、組織としての一体感を高めることにより、今後の青年会議所活動の推進力を得る一助にしたいと考えます。

5. [事業計画の概要・推進方法]

①(実施日時) 2023年10月1日(日) 10:30～13:14(受付開始10:00)

②(実施場所・会場) 高取山ふれあい公園

住所: 犬上郡多賀町大字藤頼1090-1

電話: 0749-49-0635

③(予算総額) 26,600円

※詳細は別紙[様式:計-2-1～3]事業計画収支予算書参照

④(外部協力者) なし

- ⑤ (参加者動員計画) メンバー 47名 (正会員34名、仮入会会員11名、外部監事2名)
 メンバー家族 25名 (事前ヒアリングでの参加者人数)
- ⑥ (宣伝・推進方法) ・月報9月号にてPR
 ・9月度例会にてPR
 ・委員会訪問にてPR
 ・メールリングリスト及びSNSにてPR

⑦ (事業概要) 10月度例会 アジェンダ

1. 受付開始	10:00
1. 開会宣言・点鐘	10:30
1. 国歌斉唱	10:32
1. JCソング斉唱	10:34
1. JCI Creed唱和	10:36
1. JCI Mission並びにJCI Vision唱和	10:37
1. JC宣言文朗読並びに綱領・LOMスローガン唱和	10:38
1. 理事長挨拶	10:39
1. 会務報告	10:44
1. バーベキュー会場へ移動	10:47
1. 執行部タイム	10:55
1. 監事所感	13:06
1. 若い我ら斉唱	13:11
1. 閉会宣言・点鐘	13:13
1. 終了	13:14

6. [前年度よりの引継事項]

- ・コロナ禍での開催のためメンバーだけでの家族会にしました。メンバーからご家族へ想いは伝わったと考えていますが、メンバーのご家族からより深い理解と協力を得るには、メンバーとご家族が青年会議所運動に理解し合える場を設けるとともに、メンバーのご家族同士が親睦を深められる設えを検討していきたい。

7. [本年度の工夫と期待される効果]

- ・本例会を開催することにより、メンバーにおいてはご家族のご協力に対する重要性を再認識し、組織としての一体感を高めるとともに、ご家族へ私たちの活動への理解を深め感謝の想いを伝えることでより一層のご支援をいただく一助にしたいと考えます。
- ・活動ムービーを作成しメンバー及びご家族へご視聴いただくことにより、ご家族へ私たちの活動についての理解を深めていただくとともに、メンバーにおいては2023年度を振り返りご家族のご協力の重要性を再認識する一助にしたいと考えます。
- ・活動ムービーのエンディングにて、メンバーのご家族へ執行部より日々の活動に対する御礼と本例会のPRを行うことにより、出席率向上の一助にしたいと考えます。
- ・開催日についてメンバーへ事前ヒアリングを行い、ご家族の参加率の高い日程にて選定することにより、多くのご家族に参加いただく一助にしたいと考えます。
- ・執行部タイムについてBBQを行いながら開催することで、ご家族に気軽に楽しい設えとして参加いただきやすい環境とすることにより、参加率向上の一助にしたいと考えます。
- ・執行部タイムにてメンバー及びご家族紹介を行うことにより、互いへの関心を高め親交を深める一助にしたいと考えます。
- ・執行部タイムにてBINGOを行い、ご家族には参加者全品へ景品、メンバーについては食材を景品とすることにより、ご家族には日頃のご協力に対する感謝を伝えるとともに、メンバーにおいては各グループの一体感を高める一助にしたいと考えます。
- ・執行部タイムにて御礼挨拶を行い、本例会への参加について感謝をお伝えするとともに、今後の活動についてのご協力をお願いすることにより、私たちの活動へ更なるご支援をいただく一助にしたいと考えます。

8. [執行部会での意見]

- ・青年会議所活動のみならず、社業、日常生活とご協力いただいているご家族へ、私たちの活動への理解を深めていただくとともに、感謝の想いを伝え、組織としての推進力を得る例会とされたし。

9. [添付資料の種類]

- ・審議資料ー1 活動ムービー概要
- ・審議資料ー2 執行部タイム概要
- ・審議資料ー3 会場レイアウト図・写真・会場選定理由
- ・審議資料ー4 ご家族へのアンケート
- ・審議資料ー5 メンバーへのアンケート

10. [その他]

- ・参加いただいたご家族へ配慮し委員会報告、出向者報告については、事前にメーリングリストにて報告とする。
- ・ご家族について参加申込フォームの記載事項は、メンバー名、ご家族氏名、年齢、アレルギーについての記載とする。
- ・登録料について、メンバー4,000円（ご家族2,000円、小学生4年生以下1,000円、1歳以下無料）をご負担いただきます。
- ・本例会では、アルコールについては持参にて可と致しますが、過度の飲酒や飲酒運転が発生しないよう徹底します。
- ・例会時の服装については、J Cポロシャツ、長ズボン着用、スリッパは禁止とします。

事業計画収支予算書

[様式:計-2-1]

<事業計画収支予算書>

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	摘 要
(収 入 の 部)				
1. 本会計からの繰入金	26,600	12,145	12,145	
収 入 計	26,600	12,145	12,145	
(支 出 の 部)				
1. 会場設営費	26,600	10,000	10,000	
16. 雑費	0	2,145	2,145	
支 出 計	26,600	12,145	12,145	
収 支 差 額	0	0	0	

[様式:計-2-2]

<収入明細書>

(単位:円)

科 目	細 目	摘 要	金 額	備 考
1. 本会計からの繰入金		10月度(家族)例会	26,600	
	小 計		26,600	
合 計			26,600	

[様式:計-2-3]

<支出明細書>

(単位:円)

科 目	細 目	摘 要	金 額	備 考
1. 会場設営費	会場費	入園料 @200×59 @100×13	13,100	
		コンロ使用料 @1500×7	10,500	
		森のドーム使用料 9:00~17:00	3,000	
	小 計		26,600	
合 計			26,600	

行 動 計 画 書

事業名		10月度(家族)例会～someone important to me～開催	
期間		企画開始 2023年 6月14日～企画終了 2023年12月12日	
行 動 計 画	月日	内 容	確認印
	行	2023年 6月14日	執行部会にて例会内容検討
6月22日		執行部会にて例会内容検討	済
7月 5日		執行部会にて例会内容検討	済
動	7月14日	執行部会にて協議 開催日についてのヒアリング開始	済
	7月19日	執行部会にて協議 会場仮予約	済
	8月 9日	執行部会にて審議	済
計 画	8月23日	理事会に事業計画書上程	
	8月24日	会場正式予約 活動ムービー作成開始	
	9月 上旬	委員会訪問にてPR開始 出欠確認実施	
	9月 中旬	ご家族及びメンバーへ活動ムービー配信開始	
	9月28日	出欠最終確認及び準備物数量最終確認	
画	10月 1日	10月度(家族)例会～someone important to me～開催	
	10月 中旬	執行部にて事業報告書の作成開始	
	12月12日	理事会に事業報告書を上程	

活動ムービー概要

＜趣旨説明＞

日々の青年会議所活動へ邁進できるのはご家族の協力あってのことだと考えます。そのご家族に私たちの活動への理解を得るには、どのような想いをもって、どのような活動を行っているのかがわからなければ理解のしようがありません。本例会を迎えるにあたって2023年度の活動ムービーを作成しご視聴いただくことにより、私たちへの理解を深めていただきたいと思います。

【内 容】

1月～9月度各月の例会、会員研修、写生大会、周年祝賀懇親会・式典について活動風景写真を流したあと、各例会について担当委員長及び副理事長より小学生でも理解できる内容にて解説いたします。

ムービーの最後に10月度（家族）例会について執行部よりPRを行います。

【ねらい】

事前ヒアリングから対象となるご家族について、お子様も多数おられ小学生でも私たちの活動について理解しやすいムービーとするため、風景写真と説明文、各例会及び事業担当者の説明を含めたムービーを噛みくいだいた表現にて作成しご視聴いただくことにより、ご家族へ私たちの活動をご理解いただく一助にしたいと考えます。

【ムービー詳細】

経過時間	ムービー内容
0：00～0：20	オープニング
0：21～1：00	1月度（新年交流）例会～初志貫徹！新たな時代の魁に！
1：01～1：40	2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～
1：41～2：20	会員研修～人間力溢れる人財～
2：21～3：00	3月度例会～組織の魅力を伝えよう！ みんなで目指そうPRマスター！
3：01～3：40	4月度例会～さあやるぞ！我らの70周年！！
3：41～4：20	5月度例会～大人の運動会～
4：21～5：00	写生大会2023～Go To 彦根城～
5：01～5：40	6月度例会～コンプライアンスコンプリート～
5：41～6：40	7月度例会～挑戦 進化 唯一無二のひこねを！～ 創立70周年記念祝賀懇親会・記念式典
6：41～7：20	8月度例会～組織の在り方を考えよう！～
7：21～8：00	9月度例会
8：01～8：30	エンディング 10月度（家族）例会PR

＜配信について＞

作成したムービーをYouTubeにて限定配信設定にて、メンバーとご家族のみご視聴いただきます。メンバーへ委員会訪問や直接連絡にてPRし、ご視聴いただくように働きかけます。

コメント欄に申込フォームを添付し、動画の最後に誘導します。

執行部タイム概要

(執行部タイムアジェンダ)

1. 趣旨説明	10:55 (5分)
1. BBQ交流タイム	11:00 (120分)
メンバー及びご家族紹介	11:15 (47分)
BINGO	12:02 (30分)
1. 御礼挨拶	13:00 (5分)
1. 終了	13:05

<開催趣旨>

私たちが青年会議所活動に取り組める環境を維持できるのは、ご家族のご理解とご協力があることだと考えます。本執行部タイムでは、参加いただいたご家族へ青年会議所活動やメンバーへの理解と関心を深めていただくとともに、日頃の感謝の想いをもっておもてなしをすることにより、青年会議所活動への共感を呼び、より良い家庭環境を築き組織の一体感を高める一助にしたいと考えます。

<趣旨説明> (5分)

【内 容】本例会の趣旨及び内容について説明する。

【ね ら い】開催の経緯を説明し、本例会への理解を深め以後の設えへの理解を促す。

<BBQ交流タイム> (120分)

【内 容】ご家族とメンバーにてBBQをしながら交流を深めていただきます。

※BBQのグループについては、ご家族が参加いただいたメンバーとそれ以外のメンバーを同席とし、交流を深めやすい設えとします。

【ね ら い】ご家族とBBQをしながら交流を行うことにより、開放的な気持ちでメンバーと会話の交換を行いメンバーへの理解を促します。

<メンバー及びご家族紹介> (BBQ交流タイム内 1分×47組)

【内 容】メンバーの自己紹介と参加いただいたご家族についてメンバーより紹介いただきます。

※会場レイアウトのマイク位置にてご紹介いただきます。

【紹介内容】メンバーについて・・・JC役職・名前・年齢・社業について
ご家族について・・・名前・年齢 (子供のみ)

【ね ら い】彦根青年会議所メンバー、参加いただいたご家族が互いへの関心を深める一助になると考えます。

<BINGO> (BBQ交流タイム内 30分)

【内 容】参加いただいたご家族とメンバーを対象にBINGOを開催します。

【ね ら い】参加いただいたご家族には、参加者分の景品を準備しおもてなしの気持ちをもって、感謝を伝えメンバーにはBBQの食材を景品として各グループの一体感を高める一助にしたいと考えます。

<御礼挨拶> (5分)

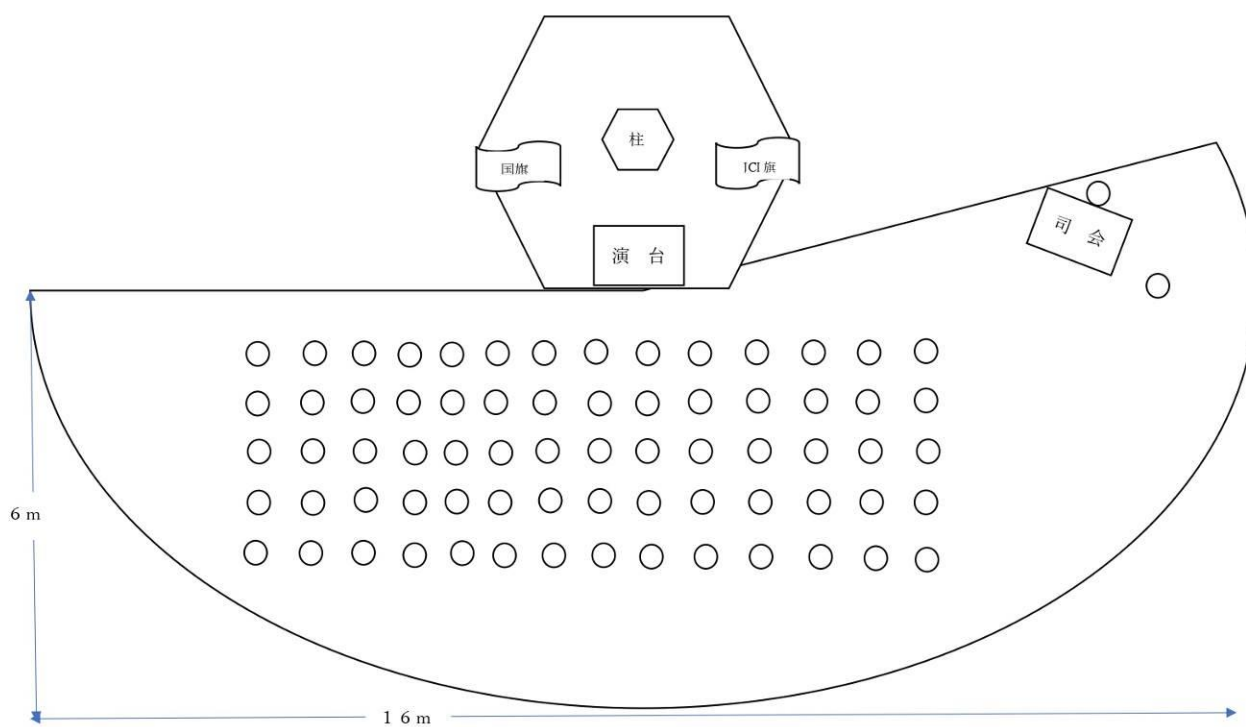
【内 容】参加いただいたご家族へ御礼の挨拶

御礼挨拶：飛松副理事長

【ね ら い】本日の参加を含め2023年度を振り返り、ご家族へご協力いただいたことに対して感謝を伝え、今後の活動に対してもご支援いただけるよう御礼申し上げます。

セレモニー会場 (森のドーム)

会場レイアウト図



会場風景写真



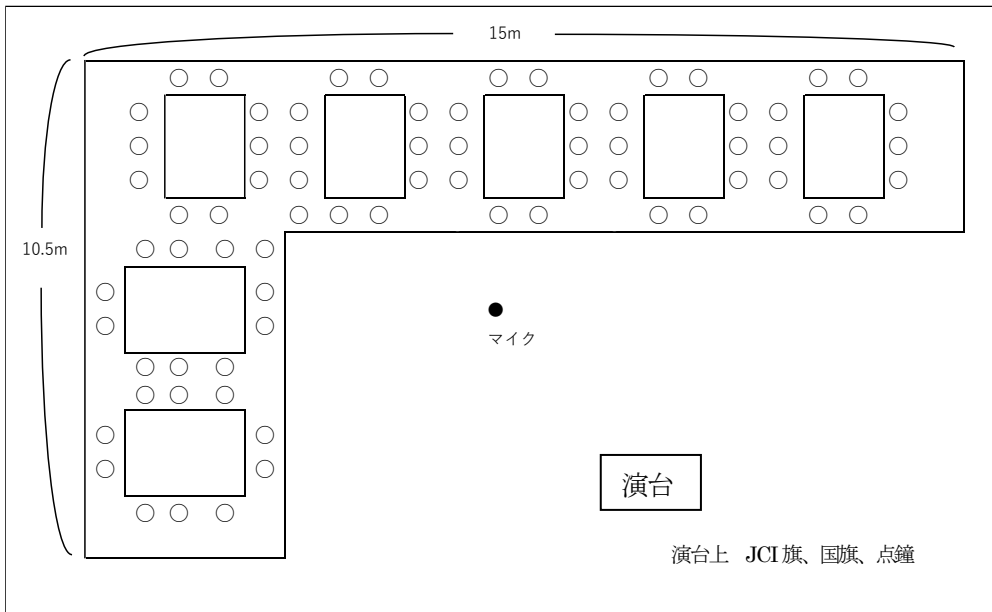
森のドーム外観



森のドーム内部

執行部タイム（バーベキュー会場、閉会セレモニー）

会場レイアウト図



会場風景写真



<会場選定理由>

参加いただくご家族に対して、日ごろのご協力への感謝の想いを込め、楽しい時間としていただくために、開放的な空間で自然を感じながら、メンバーと食事を取り交流を深めていただける会場で、雨天時にも屋根付きで開催可能で、事前予約にて対応いただける2市4町の活動エリア内にて選定致しました。

<ご家族へのアンケート>

例会後アンケート

10月度(家族)例会～someone important to me～にご参加いただき誠にありがとうございました。
今後の青年会議所活動の参考とさせていただきますため、アンケートにご協力をお願いいたします。

ryutobi07@gmail.com [アカウントを切り替える](#) 🔗

🔒 共有なし

* 必須の質問です

質問① メンバーのお名前をご記入ください*

回答を入力

質問② 活動ムービーを視聴して、どのようなメンバーとどのような活動をしているのか少しでも理解できましたか？

できた
 できなかった

質問③ 本例会に参加いただいた感想を教えてください。

楽しかった
 楽しくなかった
 どちらでもない

質問④ 今後このような事業に参加したいと思いますか？

参加したい
 参加したくない
 どちらでもない

質問⑤ 今後の青年会議所活動について応援したいと思いますか？

応援したいと思う
 応援したいと思わない

質問⑥ 質問⑤で「応援したいと思わない」と回答いただいた方のみご回答ください。
応援したいと思わない理由があれば教えてください。(今後の活動の参考にさせていただきます。)

回答を入力

質問⑦ その他ご意見、ご質問があればお気軽にご記入ください。

回答を入力

送信
フォームをクリア

<メンバーへのアンケート>

例会後アンケート

10月度(家族)例会～someone important to me～にご参加いただき誠にありがとうございました。
今後の活動の参考とさせていただきますので、アンケートにご協力をお願いいたします。

ryutobi07@gmail.com [アカウントを切り替える](#) 🔗

🔒 共有なし

* 必須の質問です

質問① お名前をご記入ください*

回答を入力

質問② 活動ムービーを視聴して2023年度の活動が、メンバーやメンバーのご家族の協力あつての活動であったと再認識できましたか？

できた
 できなかった

質問③ 質問②について「できなかった」と回答いただいた方のみお答えください。
そう感じた理由をお答えください。

回答を入力

質問④ ご家族が参加いただいたメンバーのみご回答ください。

ご参加いただいたご家族へ本例会を通して、日々のご協力に対する感謝の想いを言葉や行動で表すことはできましたか？

できた
 できなかった

質問⑤ 本例会に参加いただき、メンバーとメンバーのご家族との交流をはかり組織としての一体感は高まったと感じましたか？

感じた
 感じなかった
 どちらでもない

質問⑥ 今後の家族例会(家族会)の設えについてご意見をお願いします。
例) 本年度のように食事をとりながら交流をはかる設えが良いなど...

回答を入力

送信
フォームをクリア